JUMP COMICS

STEEL BALL RUN

スティール・ボール・ラン

VOL.22

（ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート）

荒木飛呂彦

荒木飛呂彦

「絵」を描くという作業は『無限』である。どこで終わっていいのか、一枚をずーっと描いてられる。
そして『物語』。仮に「恋人」が穴の底に落ちている設定があって、そこに「嫌いな友人」を身替りに突き落とすと、その『恋人』は命が助かるという状況があったとしたなら、もし、あなたならどうしますか？ 嫌いなヤツを突き落とす？ それは「正しい行動」じゃない気がする。考えると『無限』に答えがでなくなってしまう。
ちなみに「絵」は、自分の「心」が終わりとした時が完成。自分勝手だと思う。

●ウルトラジャンプ・H22年7月号〜10月号掲載分収録

STEEL BALL RUN スティール・ボール・ラン VOL.22 荒木飛呂彦

集英社

9784088701608

1929979004002

ISBN978-4-08-870160-8

C9979 ¥400E

定価 本体400円十税

雑誌 43093ー60

ツェペリ家に伝わる鉄球の無限の回転エネルギーにより、ジャイロはD４Cが作る次元の壁を突破。だが、大統領に深手を負わせるも、あと一歩のところで敗れてしまった。そして、大統領は残るジョニィの始末へと向かう！

ジャンプ・コミックス

JUMP COMICS

荒木飛呂彦

ツェペリの魂は

STEEL BALL RUN

スティール・ボール・ラン

（ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート）

ジョジョが継ぐ!

VOL. 22

敗北を悟ったジャイロからの最後の試練――ジョニィの爪弾は、無限の回転へ到達できるか!?

荒木飛呂彦

集英社

[STEEL BALL RUN]はクライマックスに突入していますが、"奇妙な冒険"が終わることはありません。
2011年に荒木飛呂彦**執筆30周年**、2012年には[ジョジョの奇妙な冒険]**作品25周年**を迎えるにあたり、
記念プロジェクトを鋭意準備中です。詳細は順次、UJ本誌でお知らせしていきますので、お見逃しなく！

STEEL BALL RUN ㉒
ISBN978-4-08-870160-8

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 Part7

STEEL BALL RUN

ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート

vol.22

ARAKI HIROHIKO

& LUCKY LAND COMMUNICATIONS

"STEEL BALL RUN" RACE
全行程中にニューヨークを含め9ヵ所のチェックポイントを設定。そこでレース順位、走行タイム、不正行為を確認する。そして各チェックポイント間のレースを『STAGE』と呼び、STAGEごとにトップ通過者には賞金とタイムボーナスが与えられる！
GOAL
NEW YORK
8th STAGE 140km
『スティール・ボール・ラン』レースとは
太平洋『サンディエゴ』ビーチをスタートし
ゴールを『ニューヨーク』とする
人類史上初の乗馬による北米大陸横断レースである！
総距離約6,000km 優勝賞金5千万ドル!!（60億円）
世界各国から屈強の冒険者達が集い、
その数は3,600人を超えた！
そして1890年9月25日 午前10時00分
ついに世紀のレースはスタートした！

STEEL BALL RUN

vol.22

CONTENTS

ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート

#85

ボール・ブレイカー その③

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザザザ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ

ドバ
ドバ
ドバ
ポイ

ザ
ザ
ザ
ザ
ザ
ザバ
ザバ

ハアーッ
ハアッ!!
ハアーッ
ハアーッ
ハアッ!
ザザザザ

ああ…ああああ
ボタ
ボタ
ボタ
うあああ……ああ……あ
あああっ
ああああああ
ザザ
ザザ
ザザ
ザザ
ザザ

ザザザザ
ザッ
ザッ
ザッ
あああああ
ああああああ
ガタ
ガタ
ジャイロ……!!

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ

うおおお
おおおおおおッ

ドン
おおおあああっ!!
ドンッ

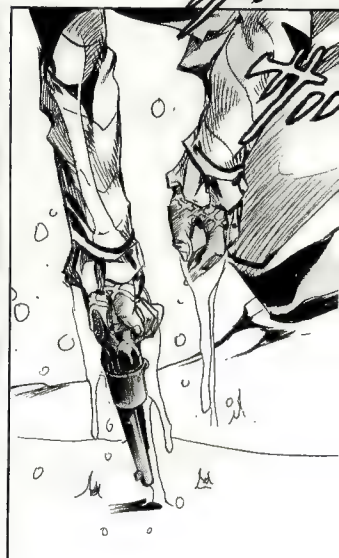
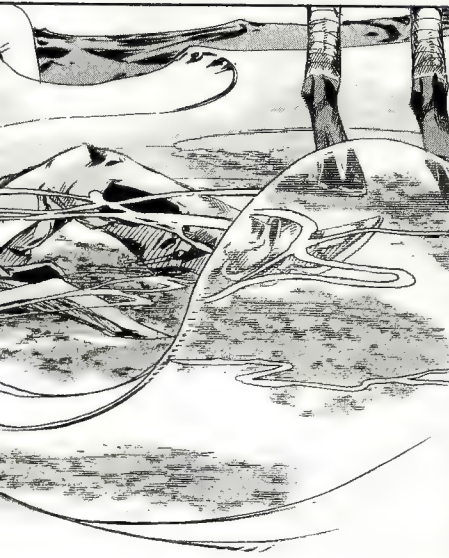
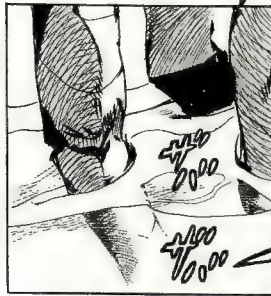
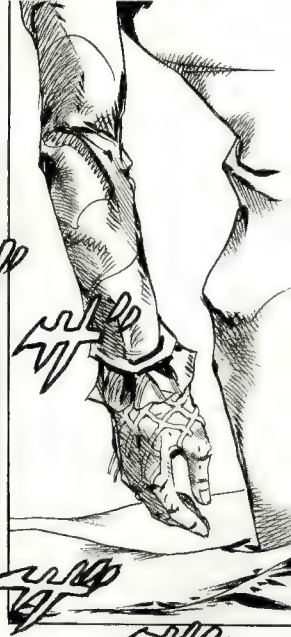
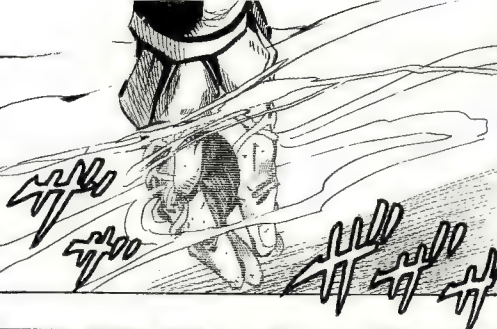
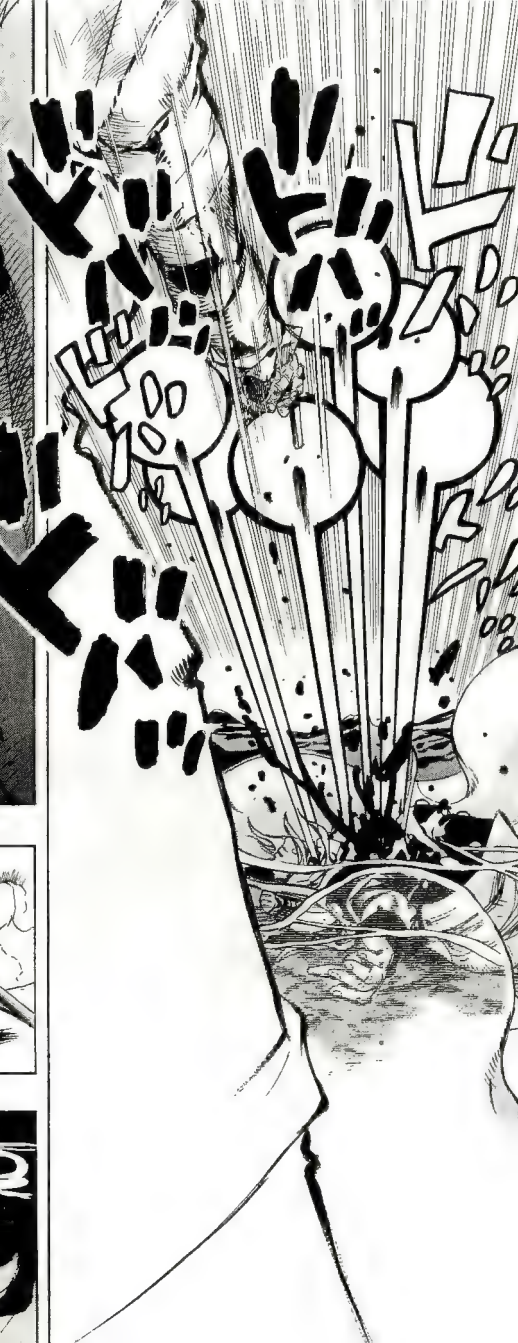
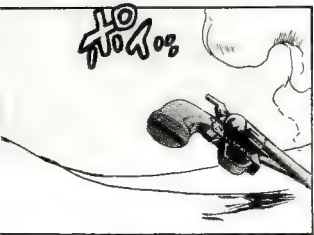
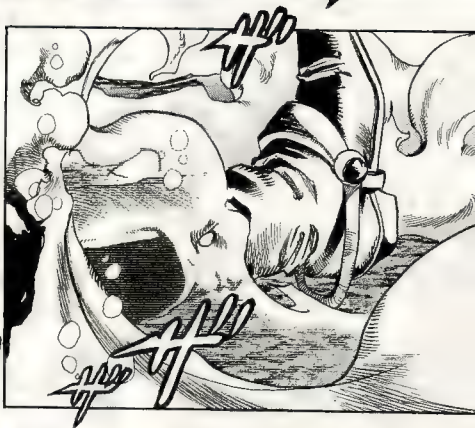
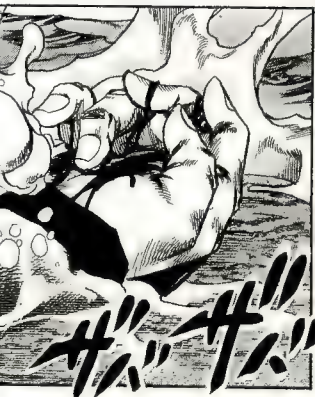
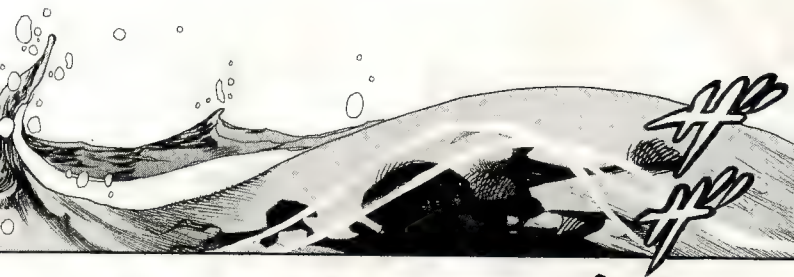
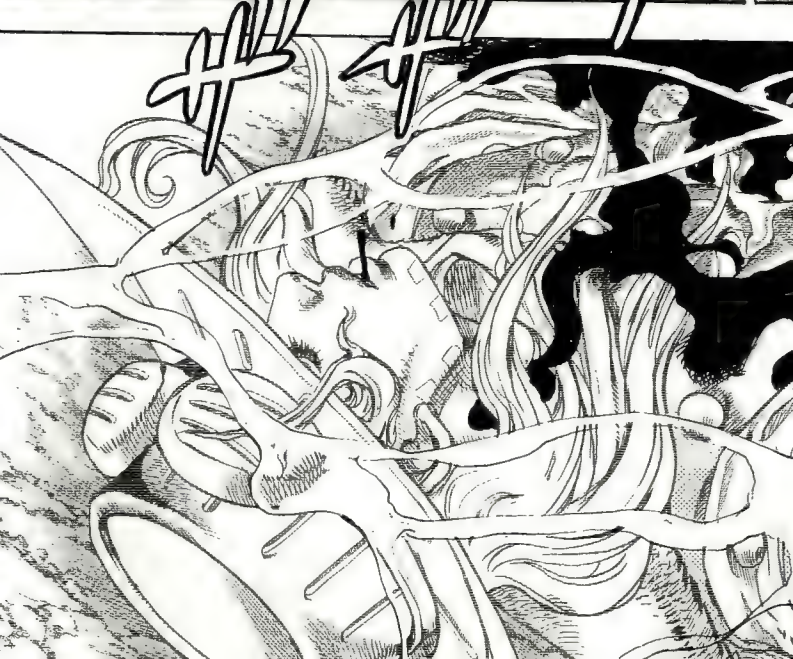
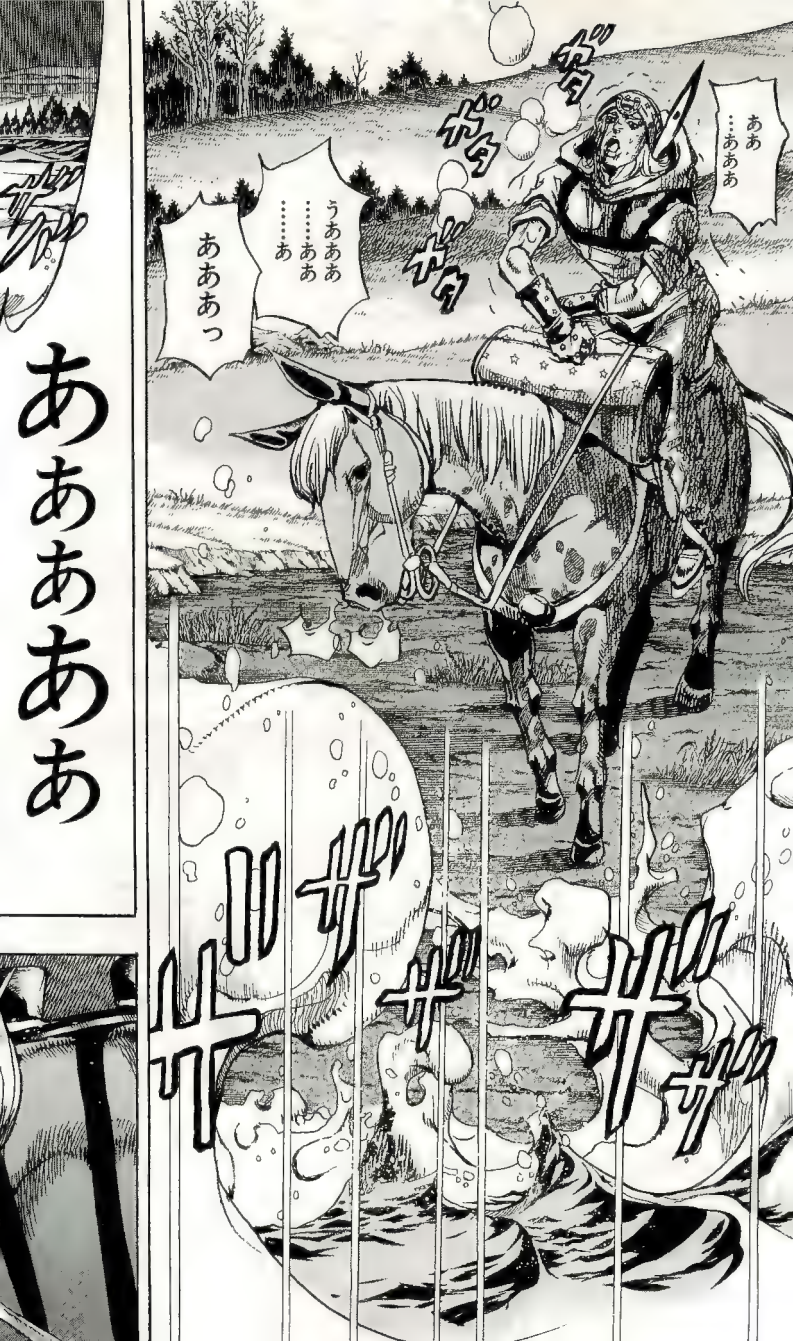
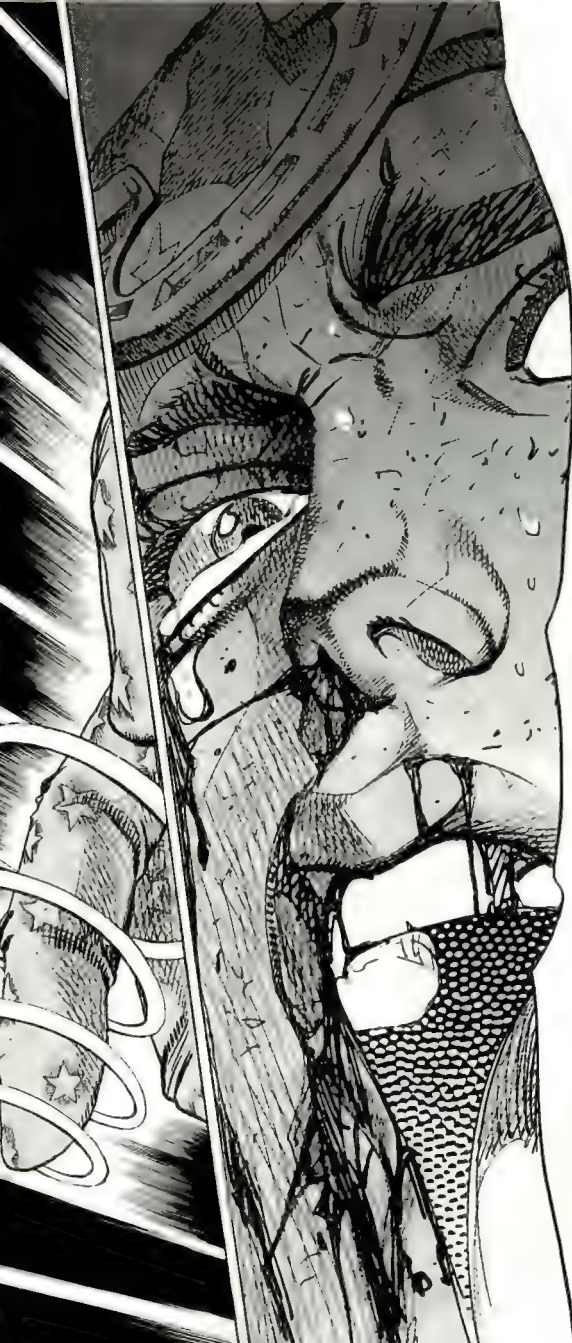
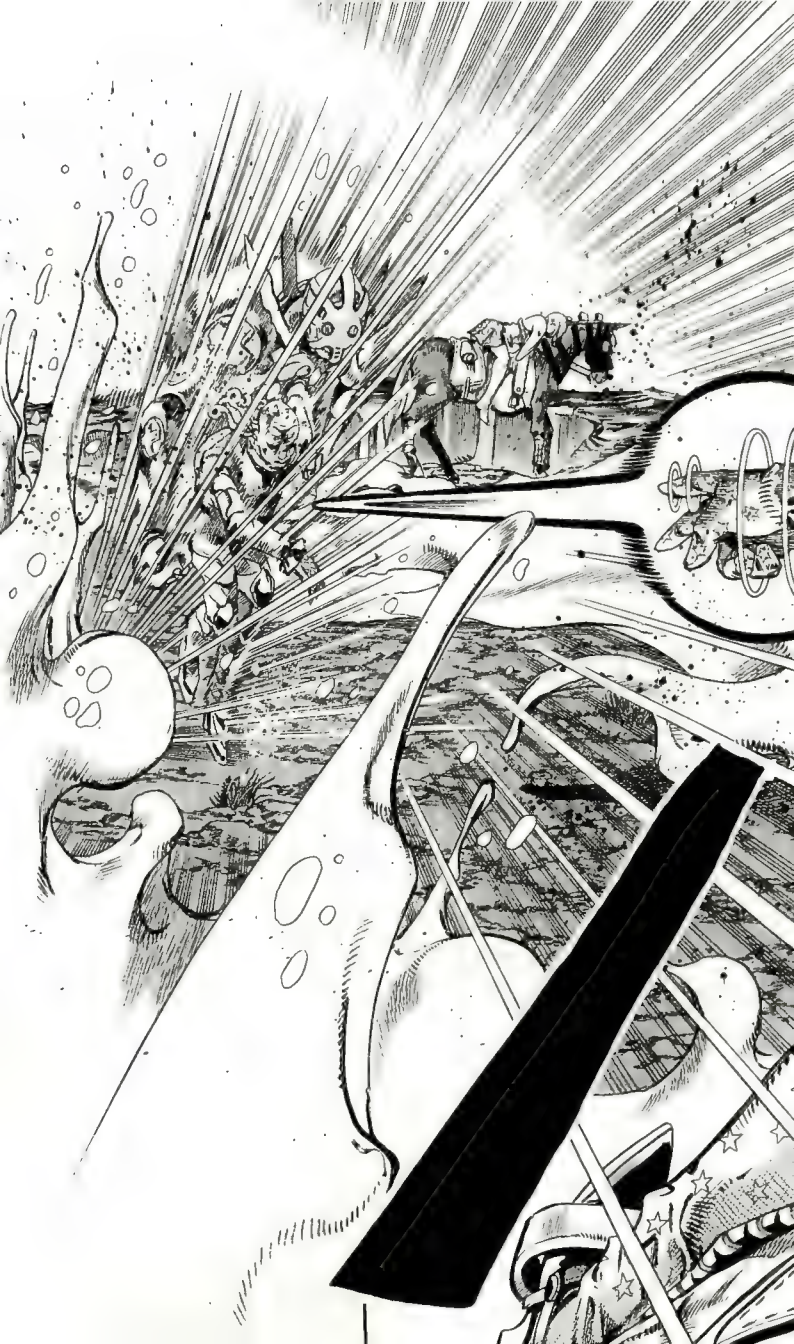
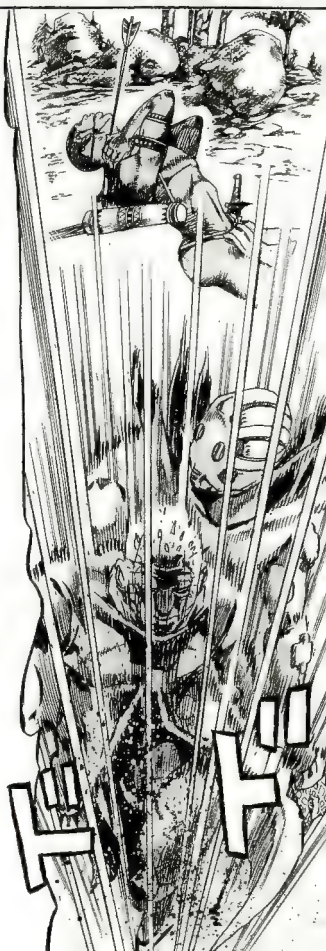
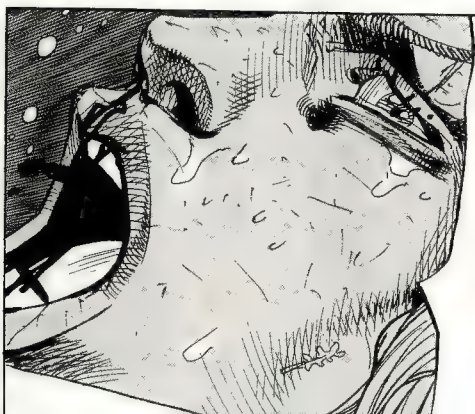
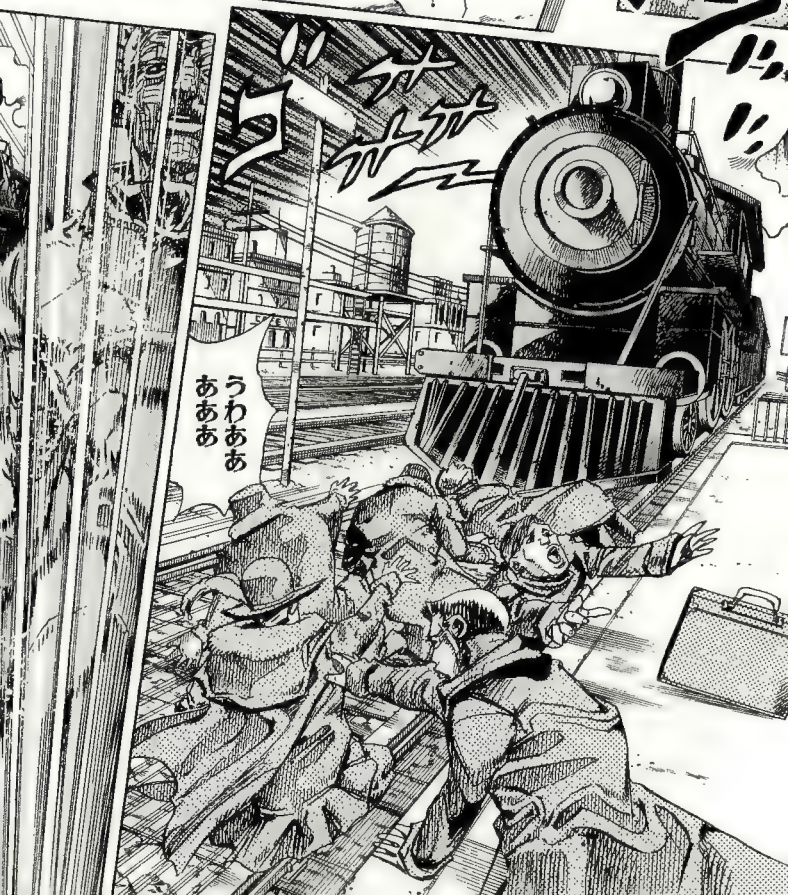
ゴオッ
ドスッ
ヴッ
ぐあっ
あっ!?
何だ!?
うあああ
と…友よ
そんなつもりじゃ…

うおあぁおおあああおおお
ドドド
ドドド

ドドドドド
うおおおおおお
馬をッ！

ズギュン
ドドドド
馬を走らせなくては
回転に「馬の力」をッ！加えなくてはッ!!

ギャ
ギャ
ギャ

え？
うっ!?
え？
うわあああああ

だめだ…
爪弾が
『次元の壁』を
突き抜け
なくては!!
おおお
おおお
ああああっ
馬を走らせて
爪弾の回転に
エネルギーを
得なくてはッ!!

!!
バッ

うっ……
ドバ
ガガガ
ガ

ううっ
うぐっ

ガァ…
バキィィ
ギャドアーン
うあああああ
はっ!!

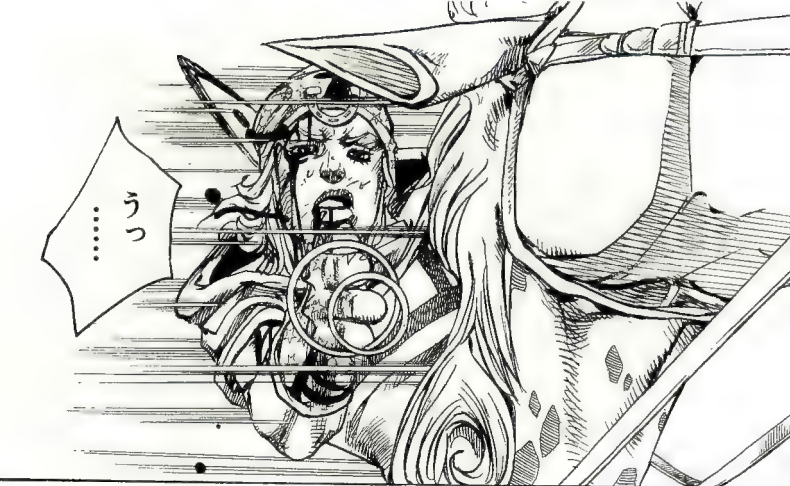
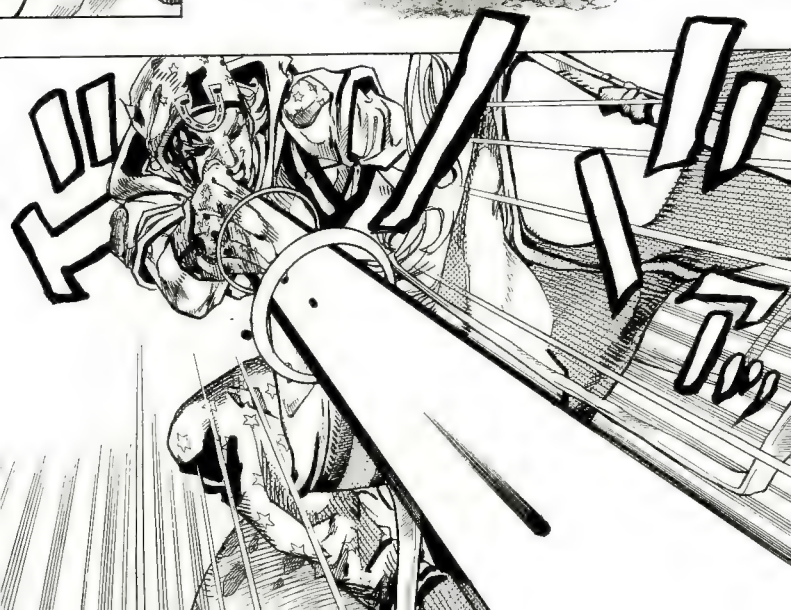
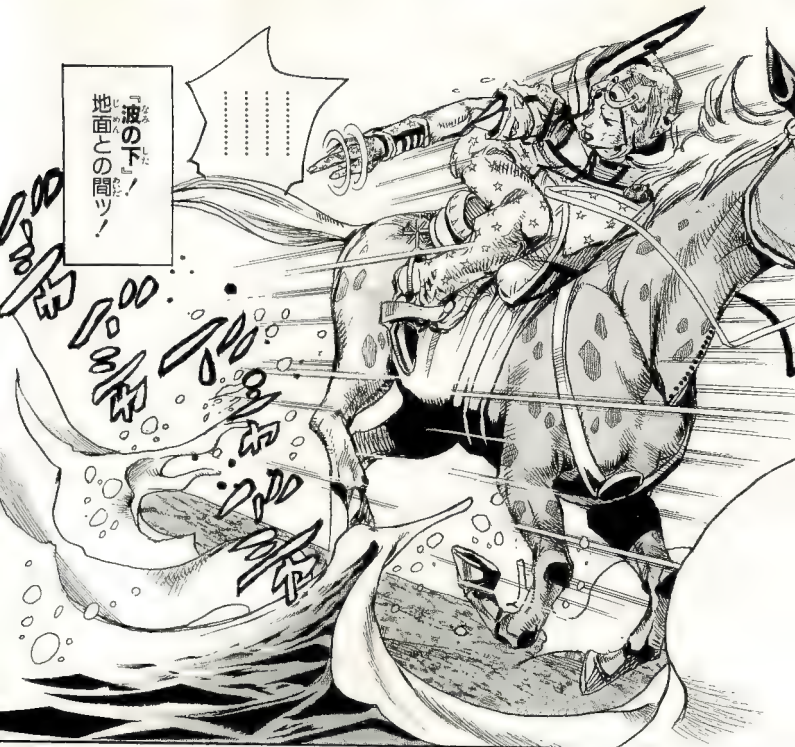
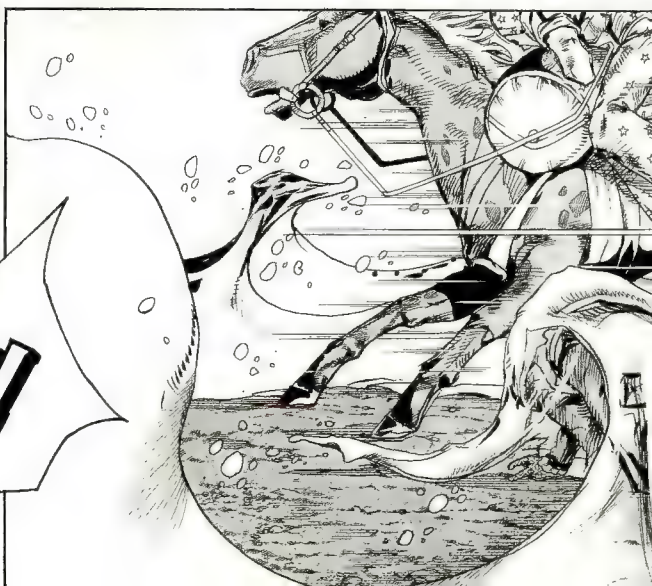
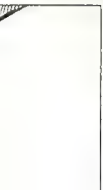
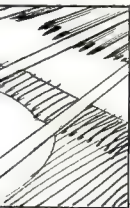
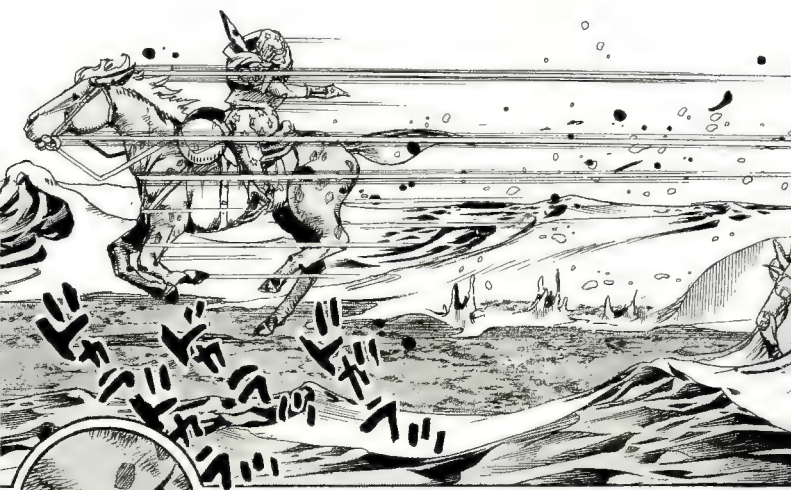
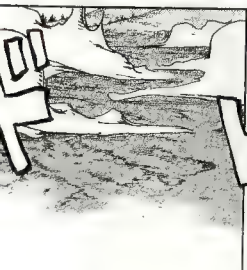
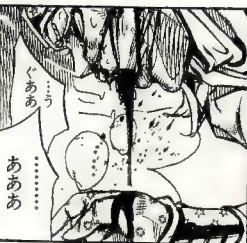
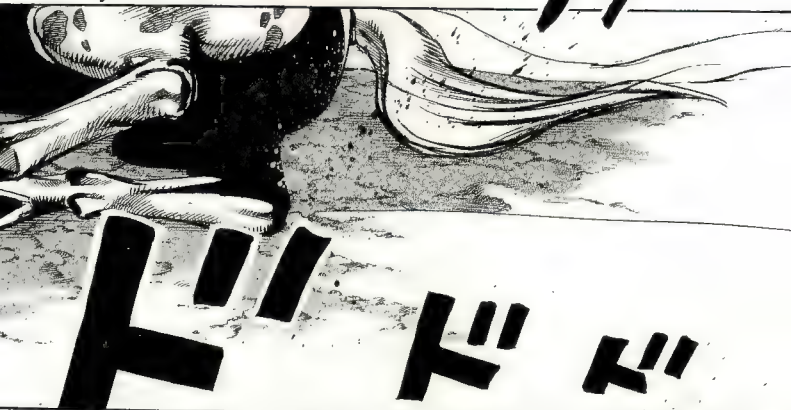
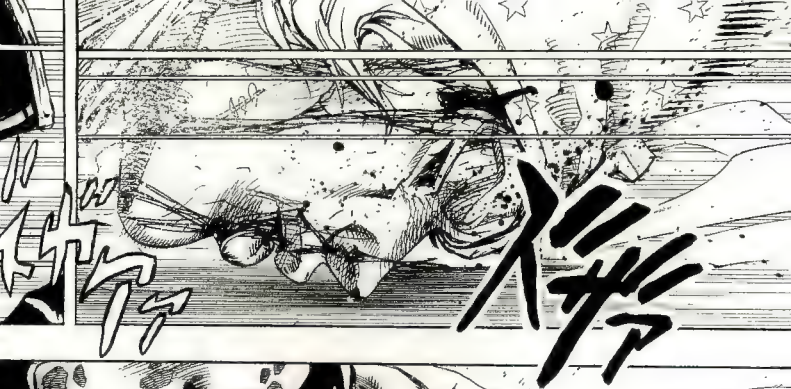
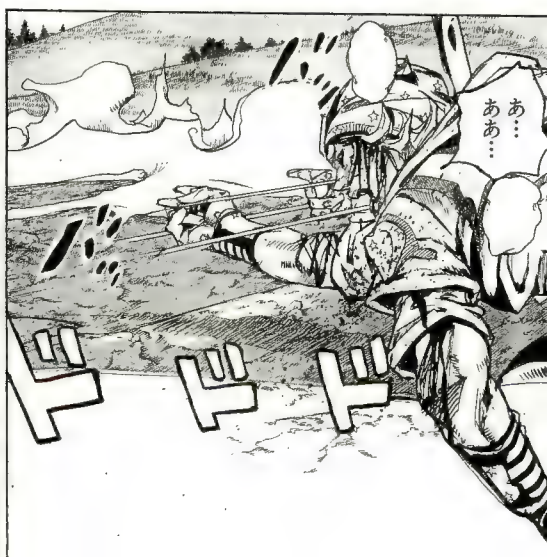
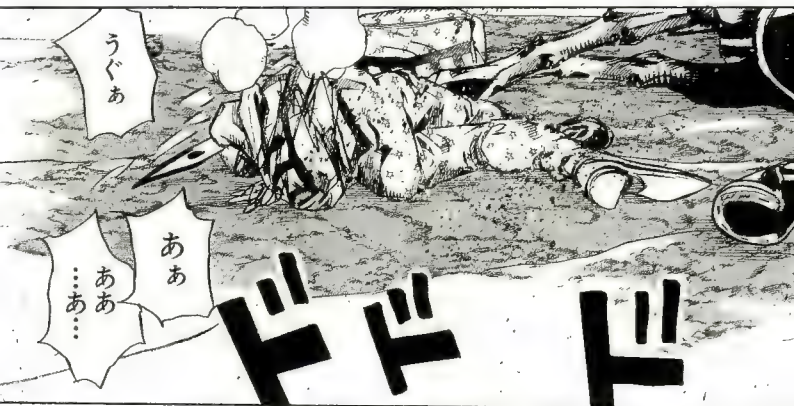
『波の下』！
地面との間ッ！
……
ドドドドド

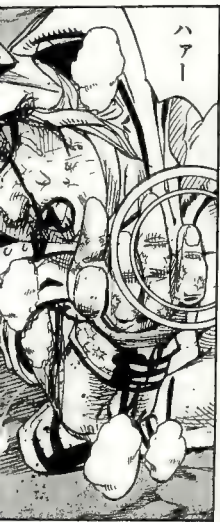
ドドドド
ドドドド
ドドドド
ドド
!!

ビシュッ
ドガベッ
ドカベッ
ドカーベッ
ドカベッ

ズドド

ドドド
ああっ……
ああ
ああっ……
ああっ!!
う…馬を……
…うぐああ
……あああ
ドド
ド

ケアーッ
ザバァーッ
うぐぁ
あぁ
ああ……あ……
ドドド
あ……
ああ……
バッ
バッ
ドドド
ううっあっ
ハアーッ
ハアーッ
ドド

2年前……
ドドド
わたしがこの国の大統領に就任した時……
わたしの生まれ故郷で祝賀の晩餐会が開かれ………
ドド
そこでその時だけ
ハアッハア
ハアーッハアーッ
この人間世界の現実…
新しい時代の幕開けの時には必ず立ち向かわなくてはならない『試練』がある

ハアーハアーッ
うう……
うう
う……
殺されたばかりの子羊の生肉が出席者たちに
ふるまわれた……
遠い祖先からの古い慣習
ド
『試練』には必ず
「戦い」があり「流される血」がある
ドドド
『試練』は「強敵」であるほど良い…
ポイ
パラ
ハアッ
ハア

試練は「供えもの」だ
りっぱであるほど良い
ハアー
ハアー
ハアー
おまえ・たち・が・それだ
「ブンブーン一家」「マウンテン・ティム」「サンドマン」「わたしの妻」「ウェカピポ」「ディオ」……
味方も敵もこのSBRレースに参加した者は「子羊の生肉」
ハアー
ハアー

ハァー
ハァー
ハァー
ハァー
ううっ
うう
次元の壁を越えれるエネルギーはこのわたしの「D4C」だけだ
そして新しい時代を意味する「ナプキン」……「不幸」をこの場所ではないどこかへ吹き飛ばすあの「遺体」…
わたしの国はこれから「幸せ」になる
ズオオ
ズオオ
「LESSON5」
ハァー
ハァー
ジャイロ……
なぜ……
ハァー
なぜ「LESSON5」を
ハァー
突然あの時……
……言い出したんだ……
ハァー

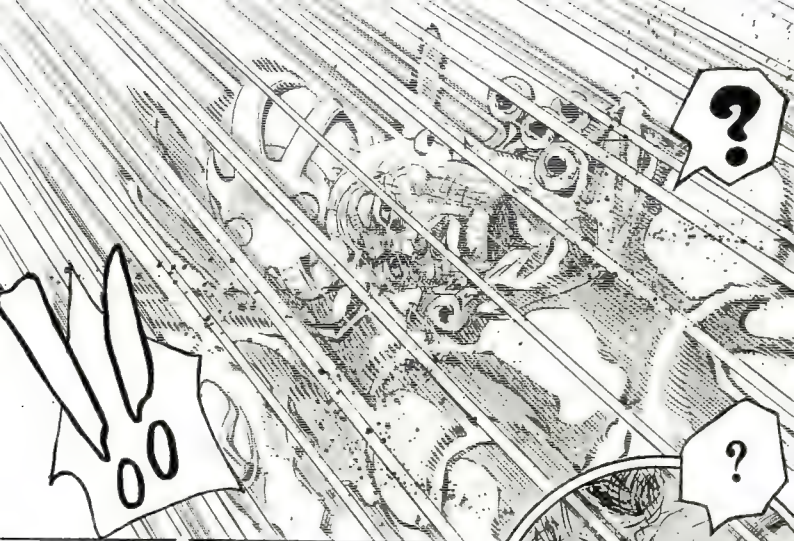
一発だけ今「爪弾」が残ってるな…ジョニィ・ジョースター……
小指の爪か？
撃たせてやる……
ハァー
ハァー
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
『LESSON5だ』……ジョニィ
オレたちの近道は遠回りだった
『このSBRレースいつも廻り道こそが……』
『最短の道だった』
ザッ

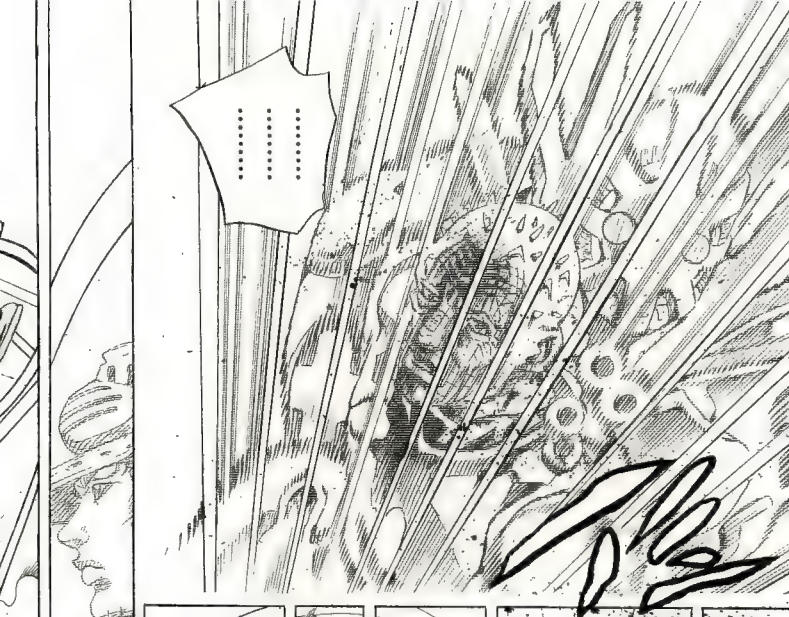
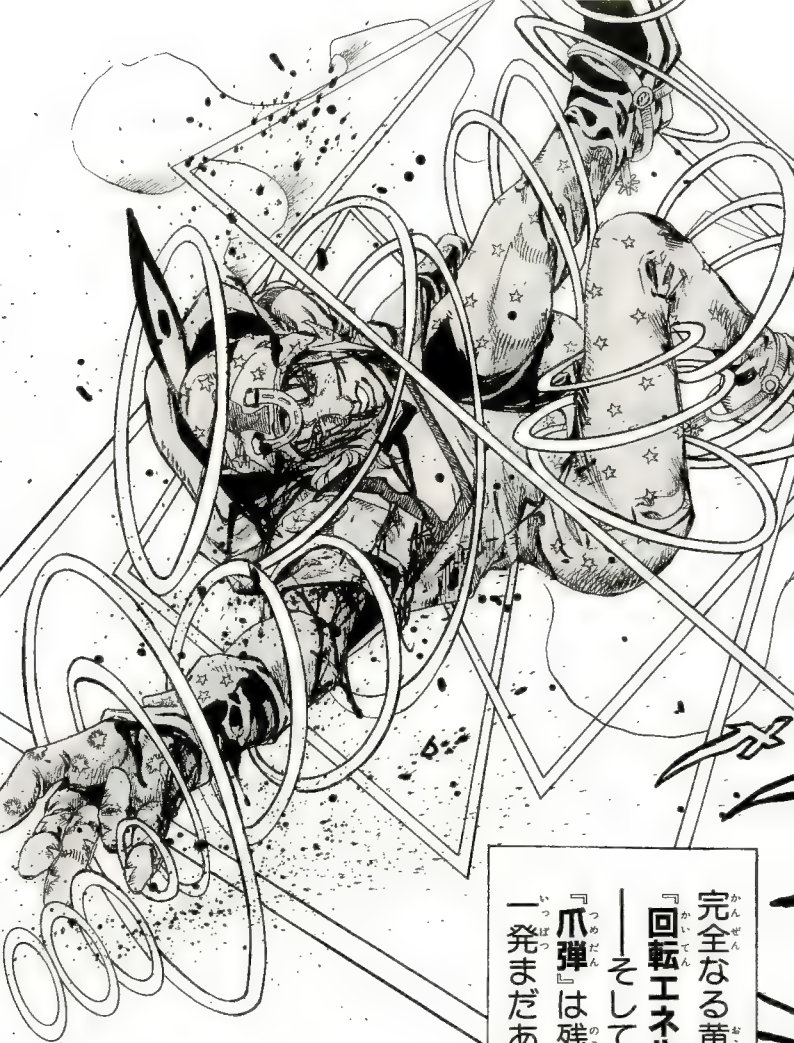
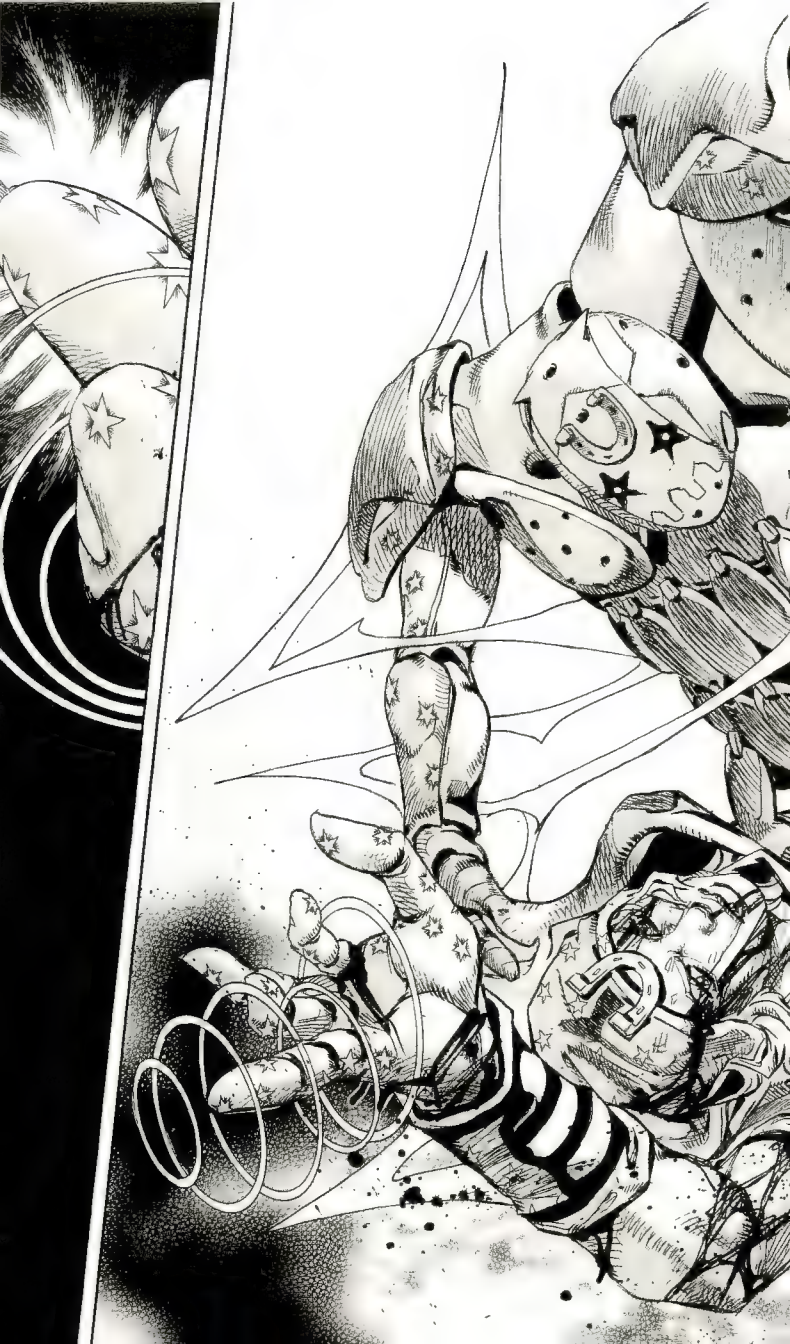
これから行われるのは「生贄」だ…おまえ！ジョニィ・ジョースター…
ドド
試練は…
流される血で終わる……
ドド
ドド
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
なぜ…
あんな時に……ジャイロ
『LESSON5』を……

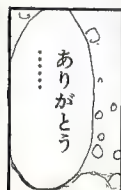
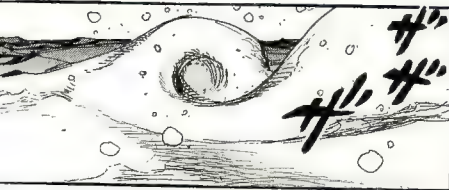
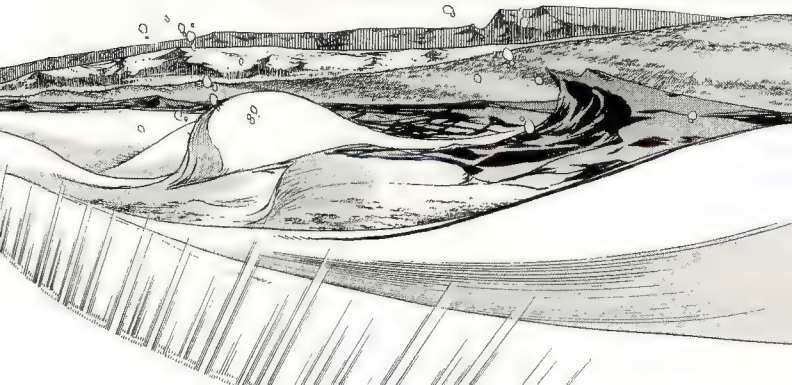
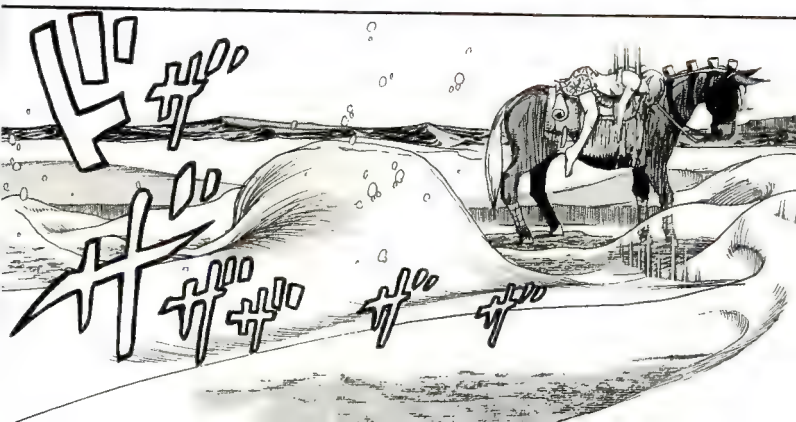
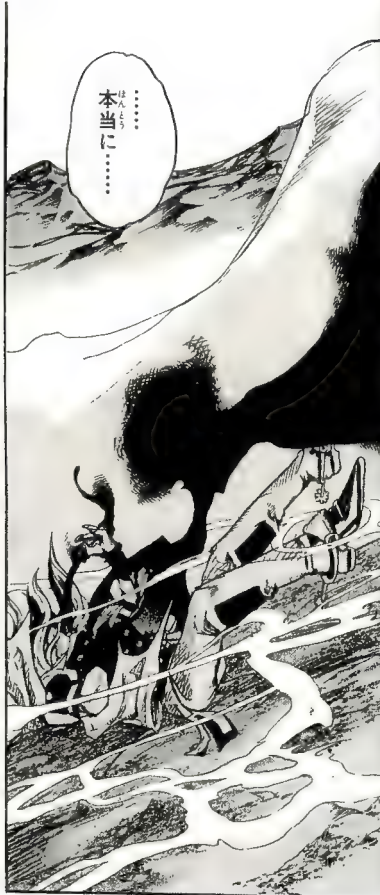
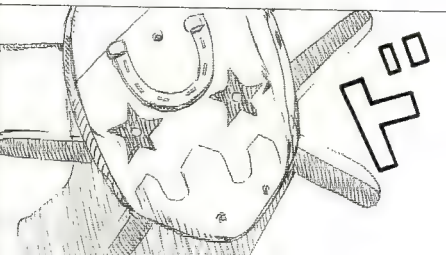
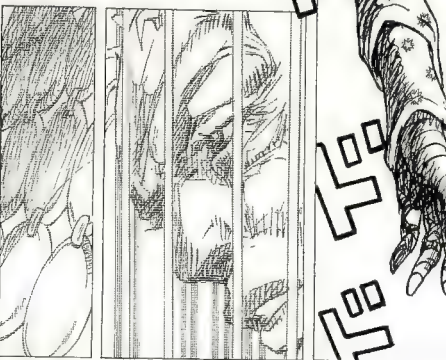
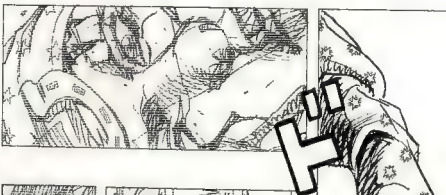
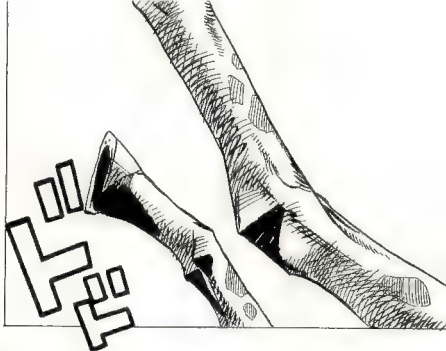
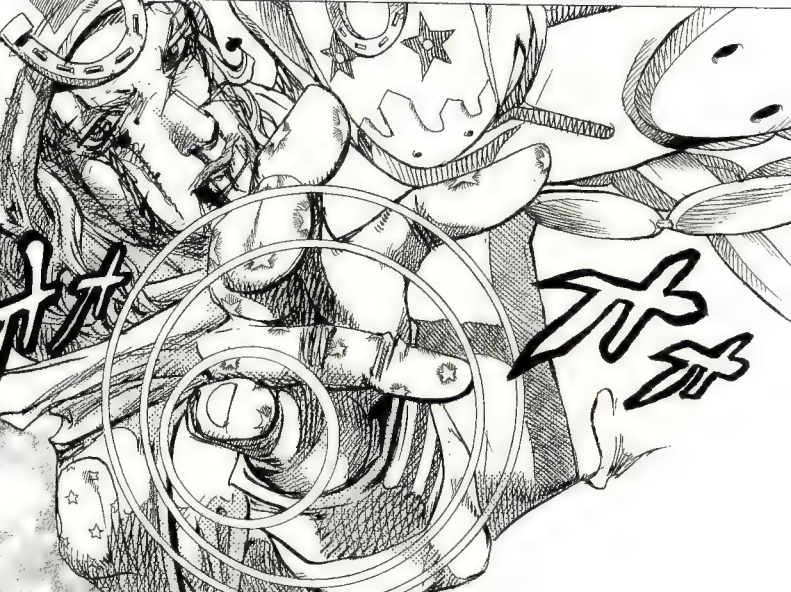
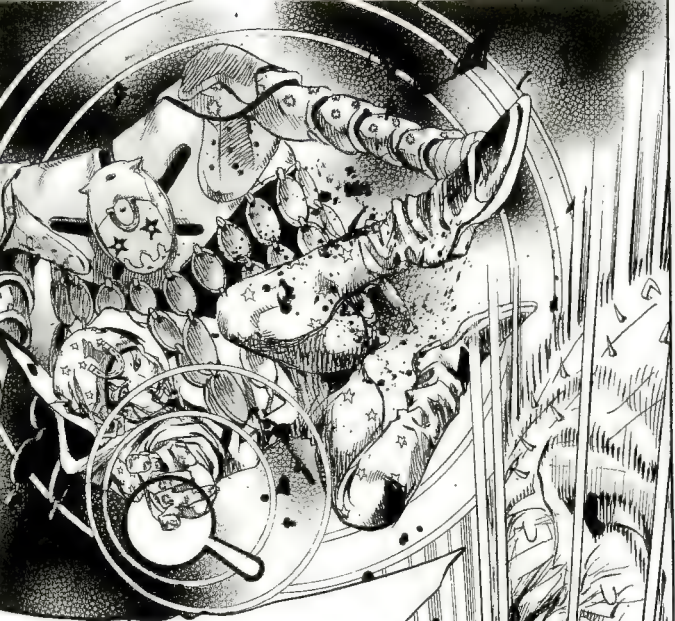
ドドドド
来いッ!
ドドドド
先に撃たせてやるッ!
ドド

ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル

ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル ギャル
ギャル ギャル ギャル

?
!!
?
……「鉄球」……

『LESSON 1』だ
妙な期待はするな
脚が動いたのは単なる肉体的な反応にすぎないぜ
ジャイロ…今君に渡せなかったこの一発の「鉄球」
僕のところにある…
本当に廻り道だった
本当に本当に
なんて遠い廻り道……

ガア

…………
『馬の力』を…
利用した
『黄金長方形』
『LESSON5』
敗北を悟ったジャイロは自分が倒されたあと…
すぐに僕の馬が攻撃される事を考えていた……
…大統領はまず僕の馬を走れなくさせるだろうという事を……
そのための「LESSON5」…

完全なる黄金の『回転エネルギー』
——そして『爪弾』は残り一発まだある

#86
ボール・ブレイカー
その④

ジャイロは
このために……
ドン
ザザザ
ありがとう
……
ザザザ
ザッ
「LESSON5」は
このために…
ザザザ

ありがとう
ジャイロ
本当に…
……
本当に……
「ありがとう」…
それしか言う言葉が
みつからない…
ザザザ
ザザザ
ドザザ
ザザザザ

ドド
ドド
ド
ド
ド
ド

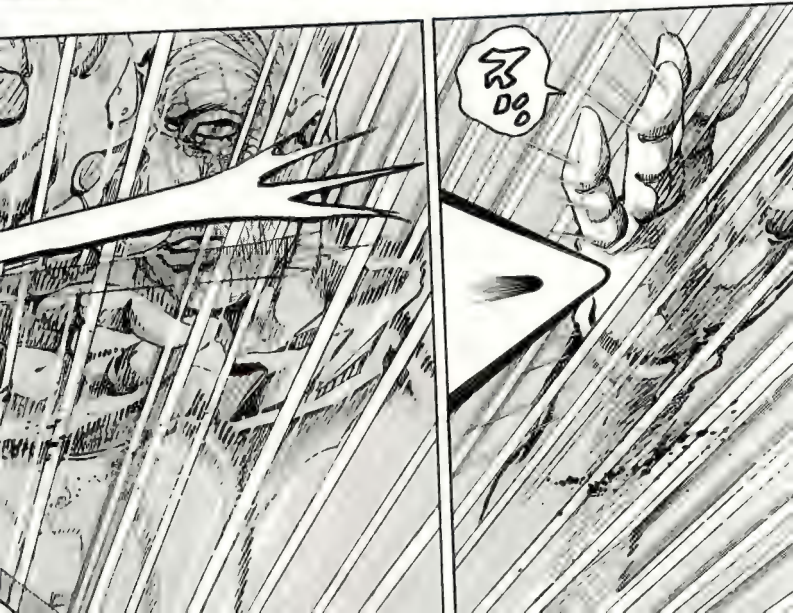
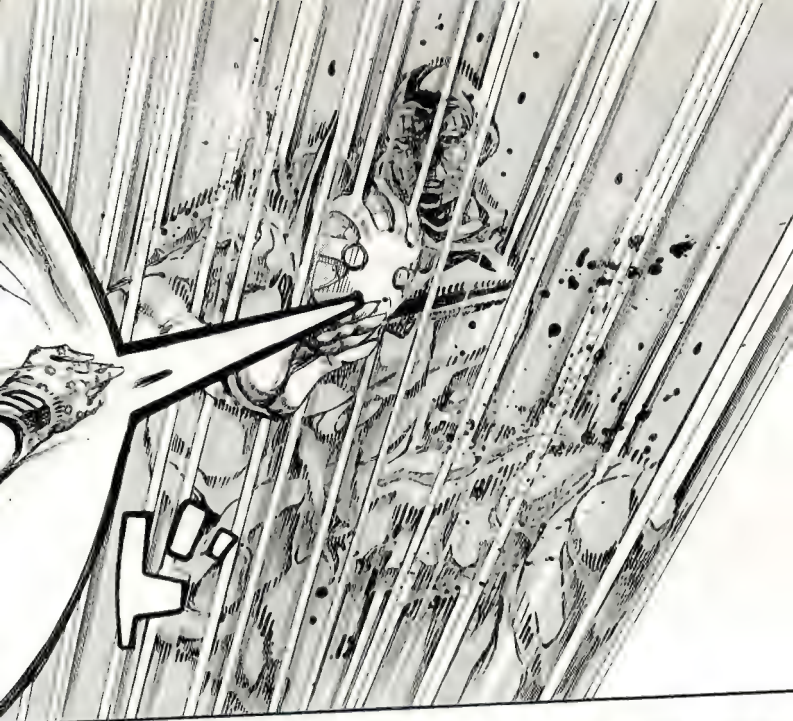
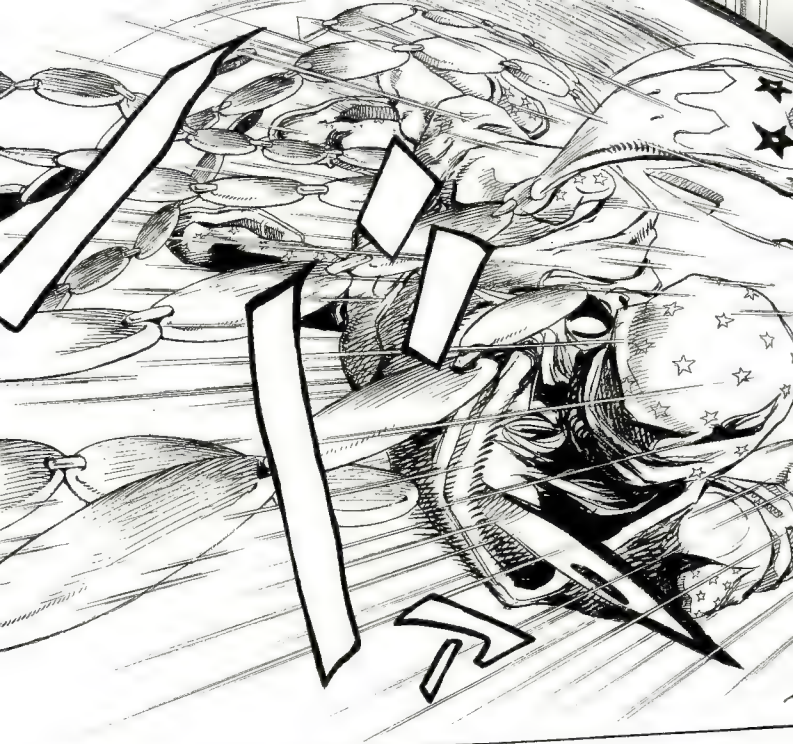
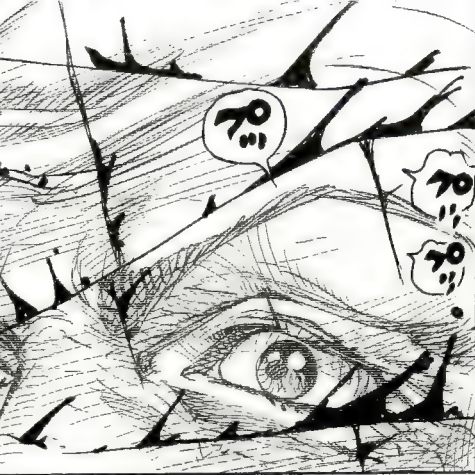
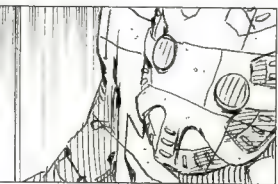
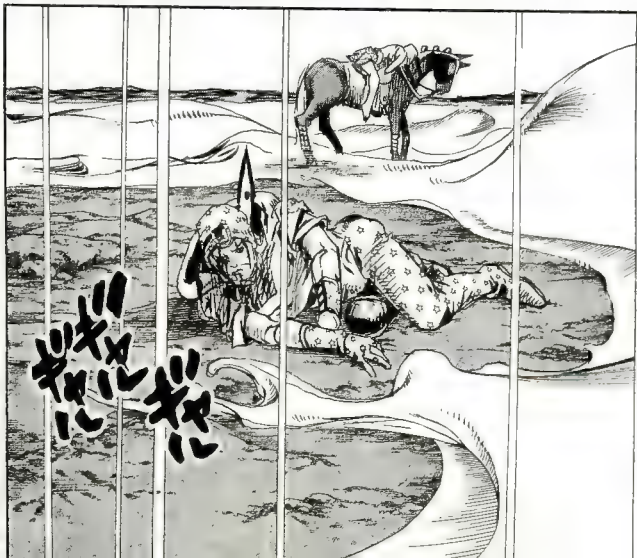
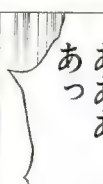
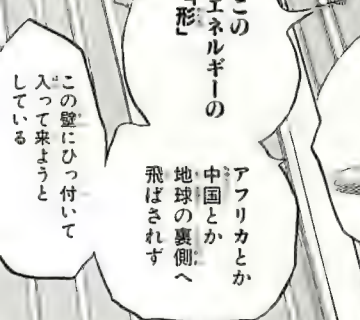
自分の体を自ら
!!
馬に蹴らせて……
回転に「馬の力」を……
……光の中へ戻れ……『D4C』……

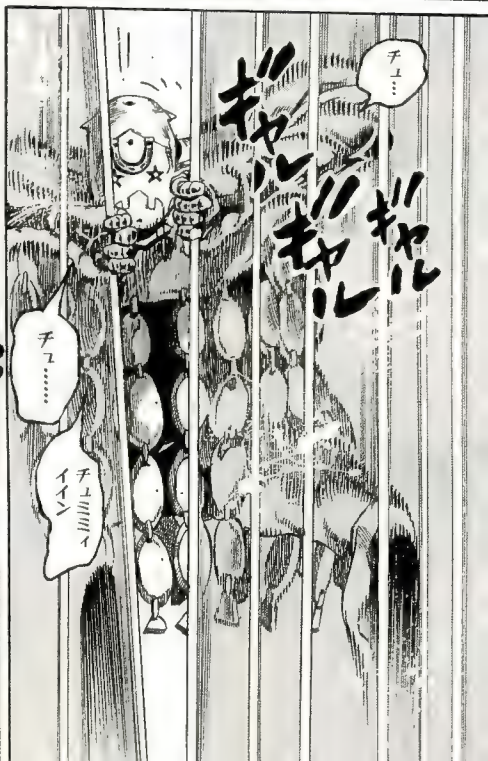
すぐにだ……
『D4C』
光の中へ隠れろォ
オオオオッ――

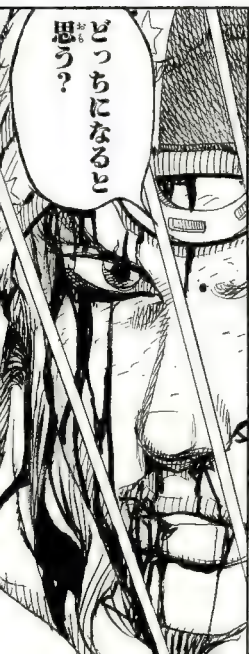
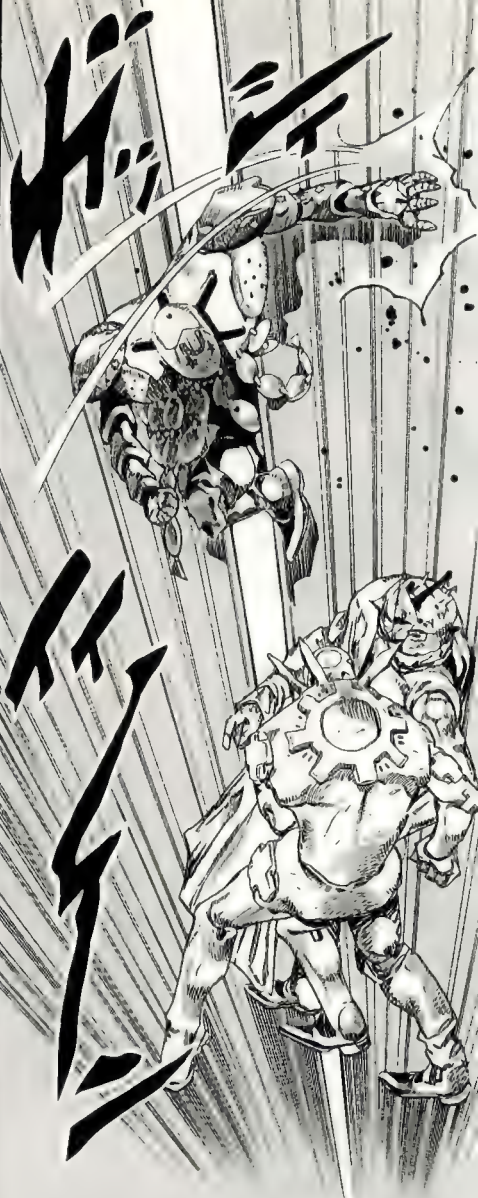
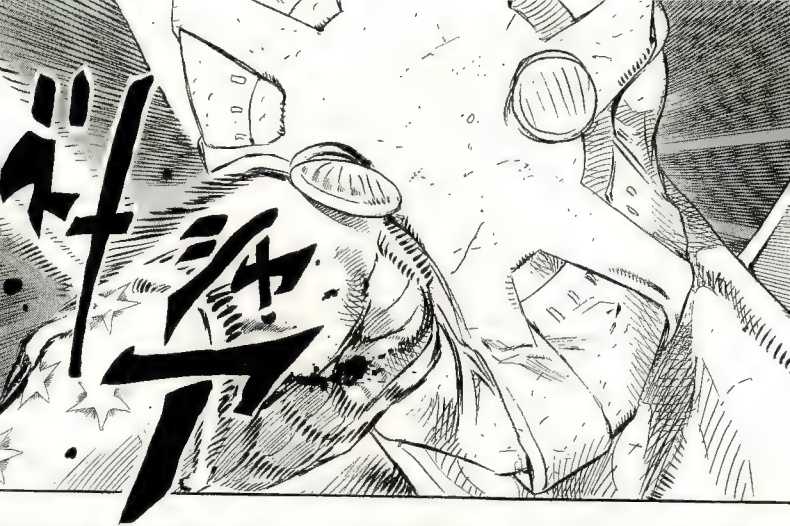
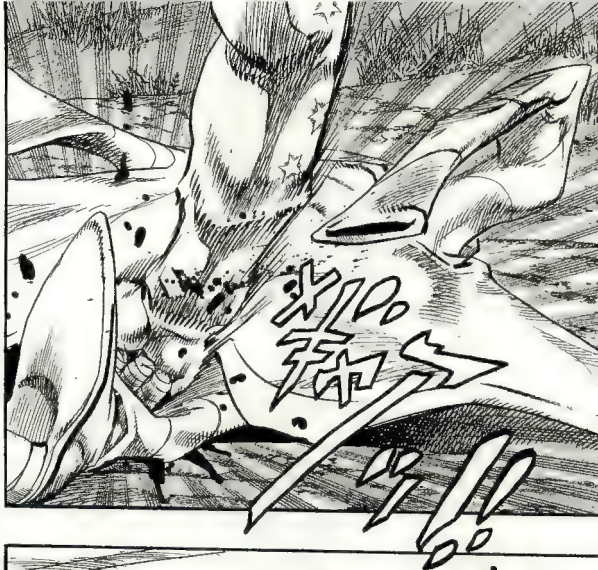
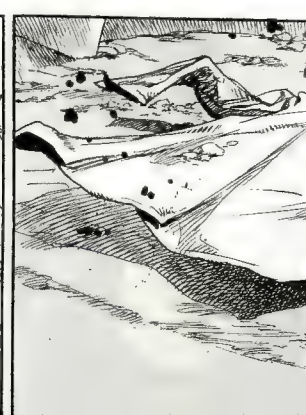
うおうっ!!

ピッ
おおおお
おおお
プッ
プリッ
プリッ
ブッ
プリッ
ピュッ
ベシャアアーッ
おおおお

ベダ゛
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ギャル
ベダ゛
ギャル
うおあ

ギャルギャル
ギャル
あっ
う……
ひっ付いてる……
ギャルギャル
ギャル

ガッ
ギャルギャル
ギャルギャル
ギャル
な…
…んだ
これは!?
ギャルギャル
ギャル
ジャイロ・ツェペリの時と同じだ
このエネルギーの「形」
アフリカとか中国とか地球の裏側へ飛ばされず
この壁にひっ付いて入って来ようとしている

い…いや
それ以上だ
こじ開けようとしている
クッ…
くそっ…
まずいぞ…
『新しい力』……
これはジョニィ・ジョースターの「スタンド」だ…
ジャイロの時は「楕円球」の回転だった……
ジョースターのこれは おそらく完全なる さらにその上の回転！
チュ…
ギャル
ギャル
ギャル
チュ……
チュミミィ
イイン
ガオン
ギュン

このスタンド
何をする気
だ？
ギャル
ギャル
ギャル
光の壁を
越えて来て
何をする気
だ？
この中へ入って来て
その腕を伸ばして
このわたしに何を
する気だ？
まずい
……
ギャル
ギャル
この場所は
まずい
ここは この場所から
逃れた方が
良さそうだ…
この光の中に
隠れているだけ
では駄目だ
さらにもっと奥へ
逃げよう
ギャル
ギャル
ギャル
この「場所」の
……
無数にある
さらに隣りの
……
次元へ…
…逃れて
隠れなくては
……

ギャルギャル
ギャルギャル
『牙・ACT4』だ
『生贄』は…………
……ヴァレンタイン大統領！
どっちになると思う？

くそ…入って来たッ
奥だ「D4C」……!! 奥へ行くぞ…
オラオラオラオラオラオラ

オラオラオラオラオラオラ

ズギャア
うぐふう!!
ズッ
ブッ
ズッ
オラオラ
オラオラ
オラオラオラアッ
ズドドドドド

メパキャ
ザン!!
うぐ
あぁっ
ドンッ
ズドドド
ドゴッ
ズドッ

うおあ
あ…っ

ガボオッ
ガボッ

こ…
ここはッ!!

地中だ
……

息が
……!!

うぐあお おお……ああっ
この新しい世界の
ヴァレンタインはどこだ!?
ガボッ
呼吸……
急げ……
…どこだ
探…せ……
ク…

シューッ

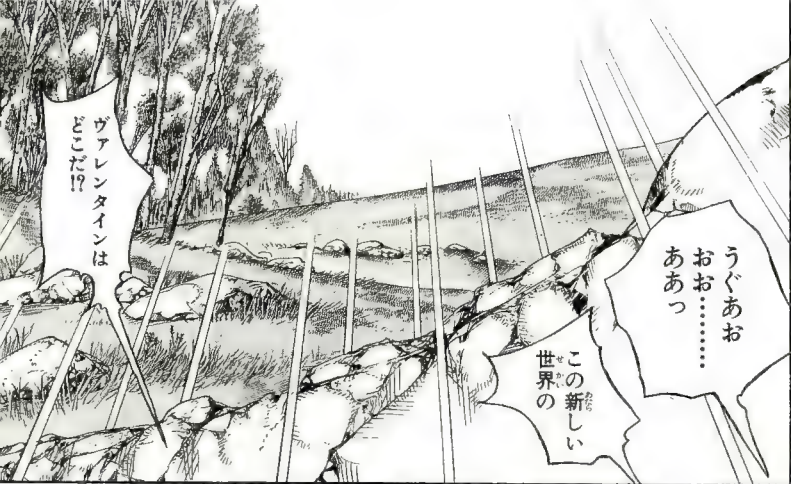
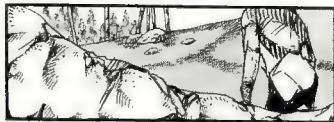
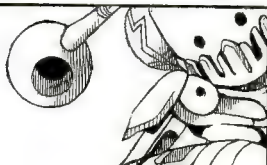
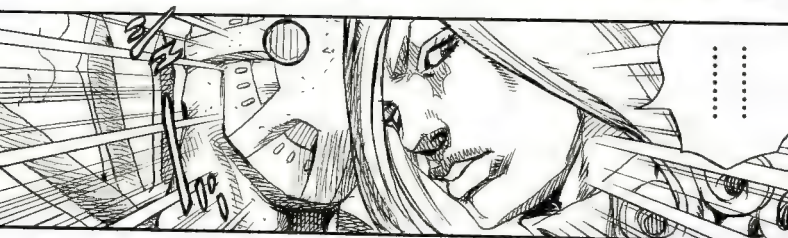
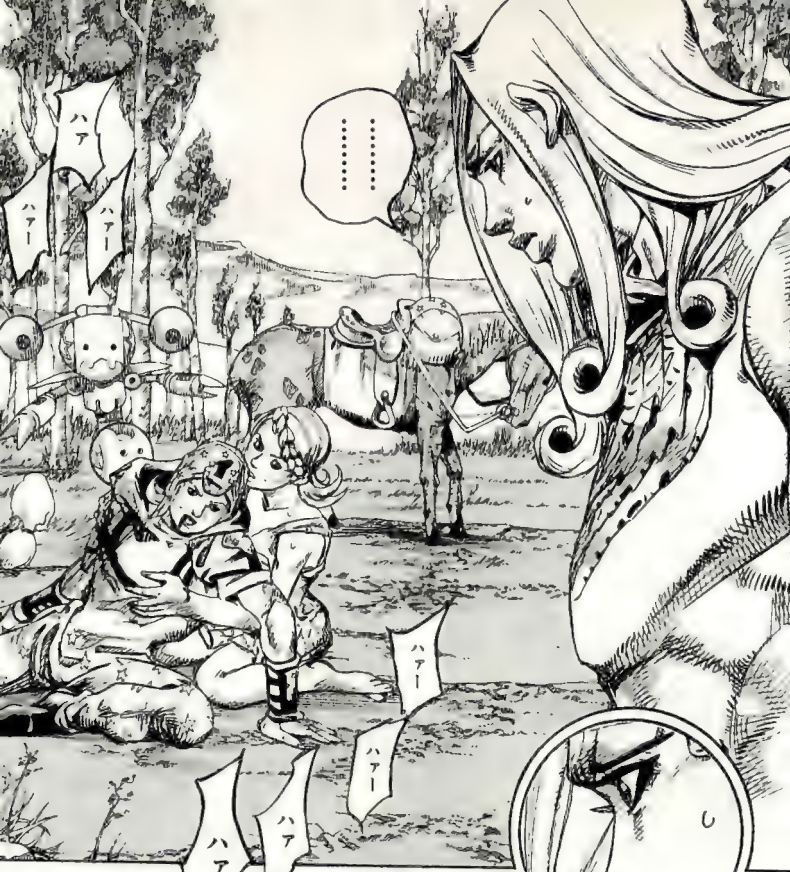
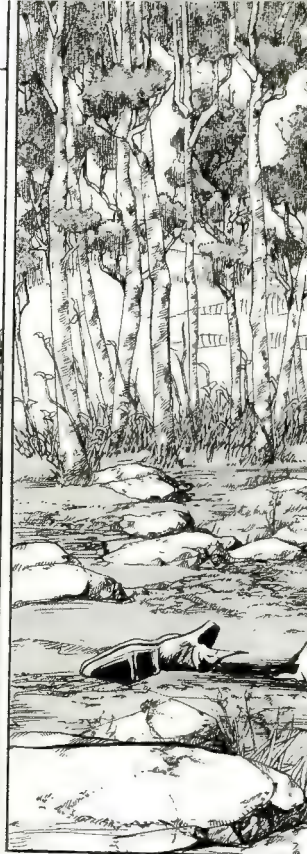
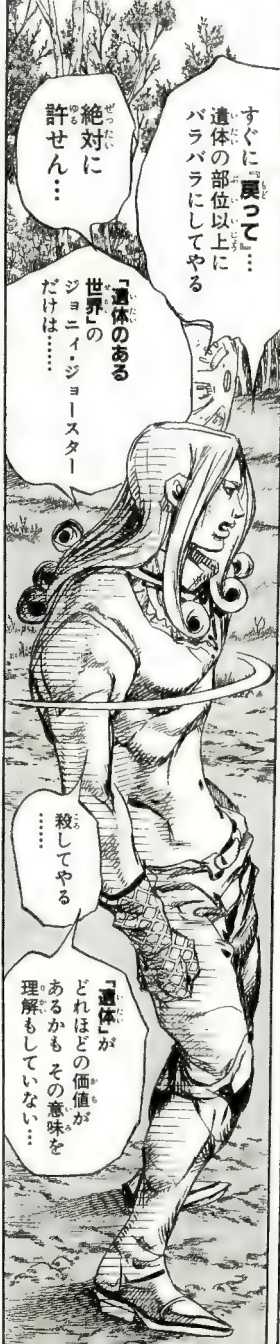
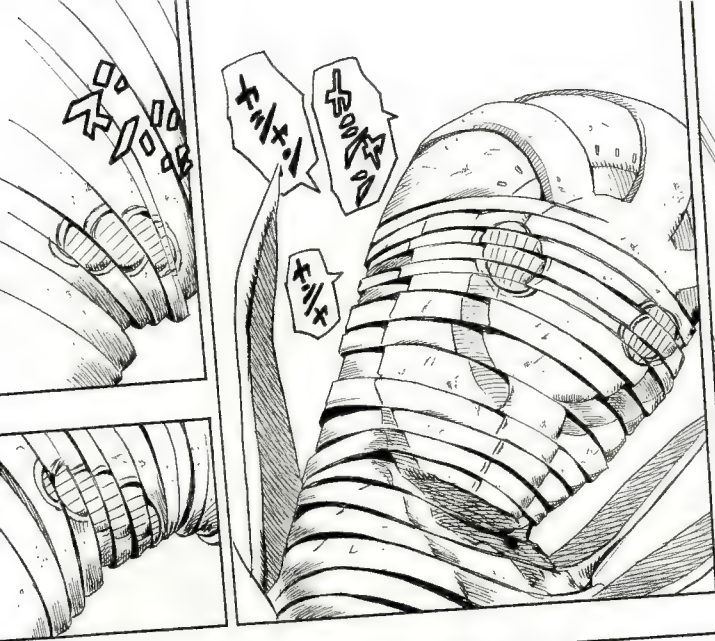
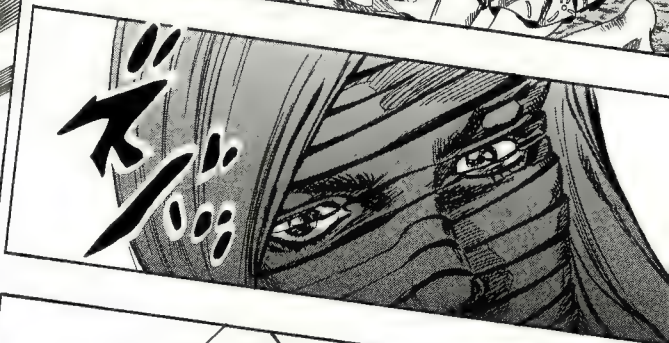
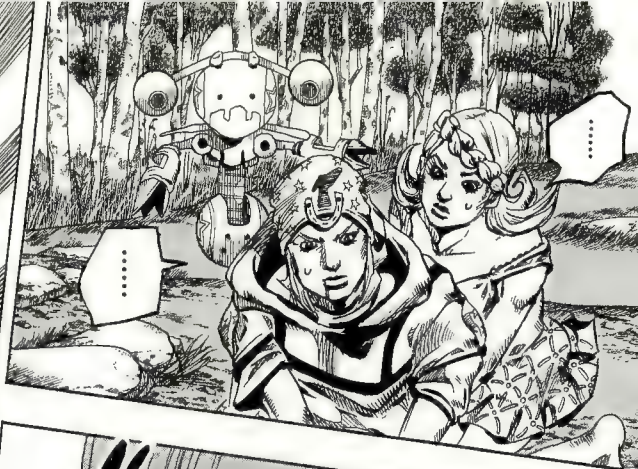
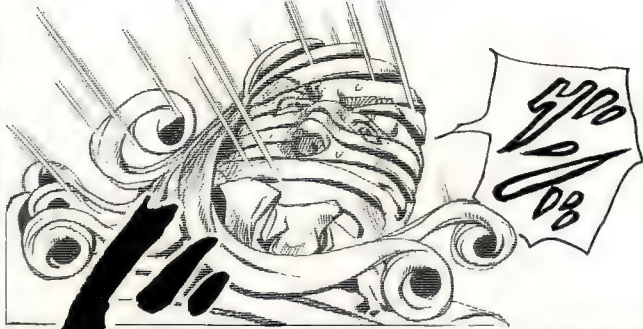
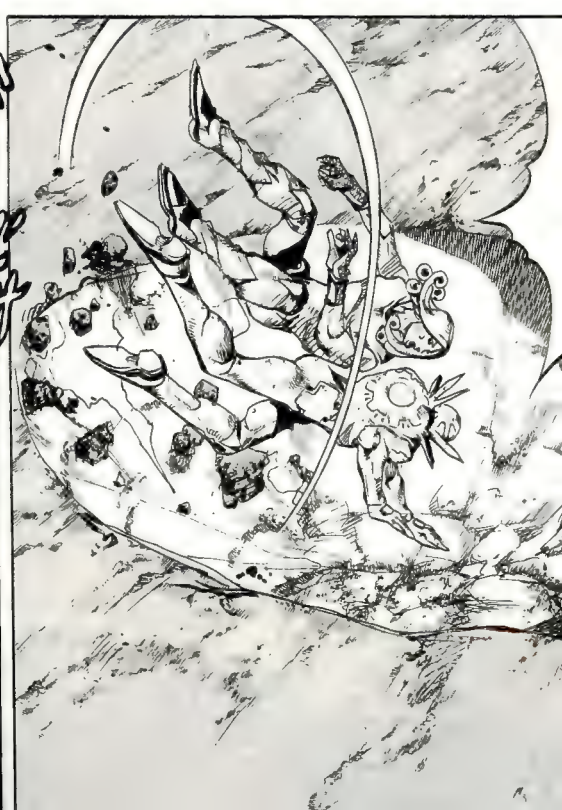
……

シュー

シューシュー

がくっ……
……
ゴス
ゴス
……
……
グルン
ザッ
ザ
ザッ

……
ハアー
ハア
ハアー
ハアー
ハアー
ハア
ハア

……(理解した)……
すぐに『戻って』…
遺体の部位以上にバラバラにしてやる
絶対に許せん…
「遺体のある世界」のジョニィ・ジョースターだけは……
……殺してやる
「遺体」がどれほどの価値があるかも その意味を理解もしていない…
ハァ
ハァ
ハァ
あのとるにたらない小僧の存在だけは…

『次元の壁を越えた』だと……！
あの『爪弾』の存在………!!
許す事は出来ない！
今 ヤツの馬は殺った……… 馬のパワーはもうない…
指の爪弾が再びはえそろう前の今！
今 あの「回転」は終わりだ！
戻って すぐに殺してやるッ…!!

カシャ
カシャ
カシャ
……
ズバッ
ズバッ

カシャッ
カシャン
カシャ
!!
ドルウウウー

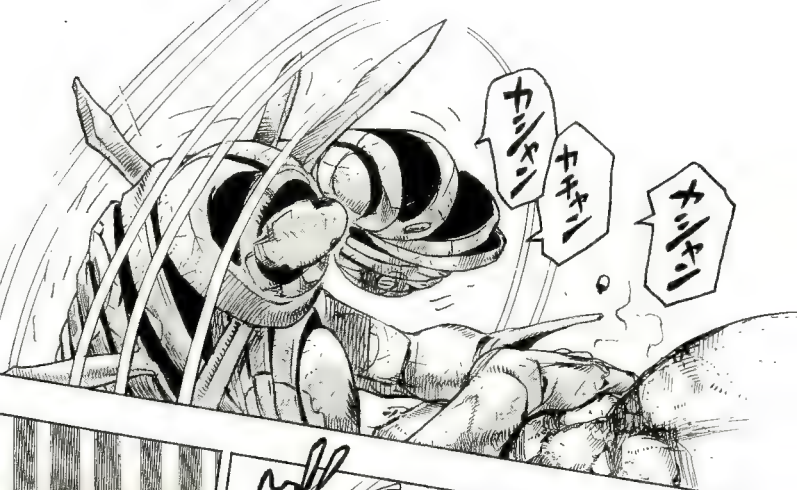
……
……
っ…
ガシャンガシャン
ガシャン
…何だ……!?
うおお!!

グルゥゥゥン
トゥ
こっ……これはッ!!

グン
あっ!!

ドッ
ザザ
ド
ザザ

ドザ
ドザ
ドザ
うおっ
何がッ！
うぐあ
ガボガボガボ
おおっ
これは何が起こっているッ！
わたしの「D4C」が……
『D4C』ッ！
穴からはいあがれッ！
上へ登るんだッ――!!

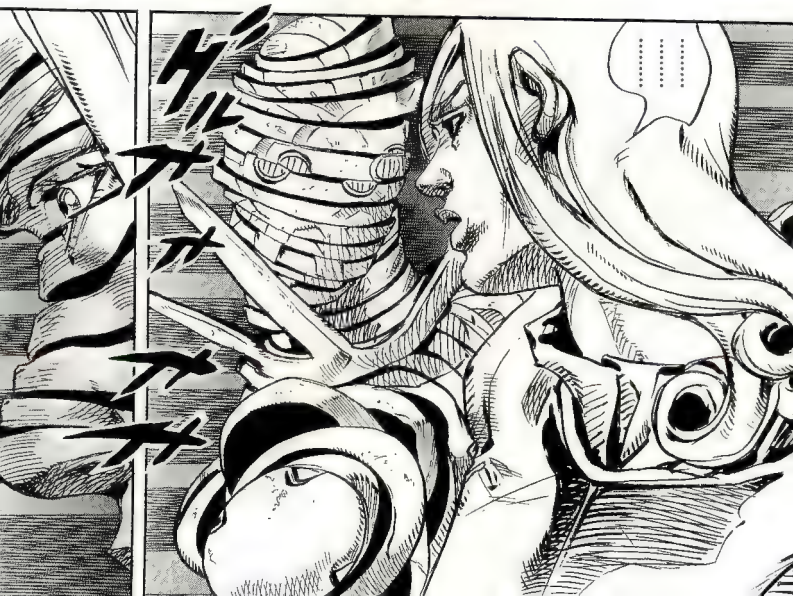
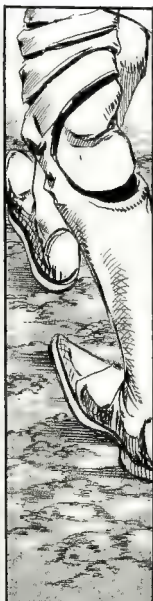
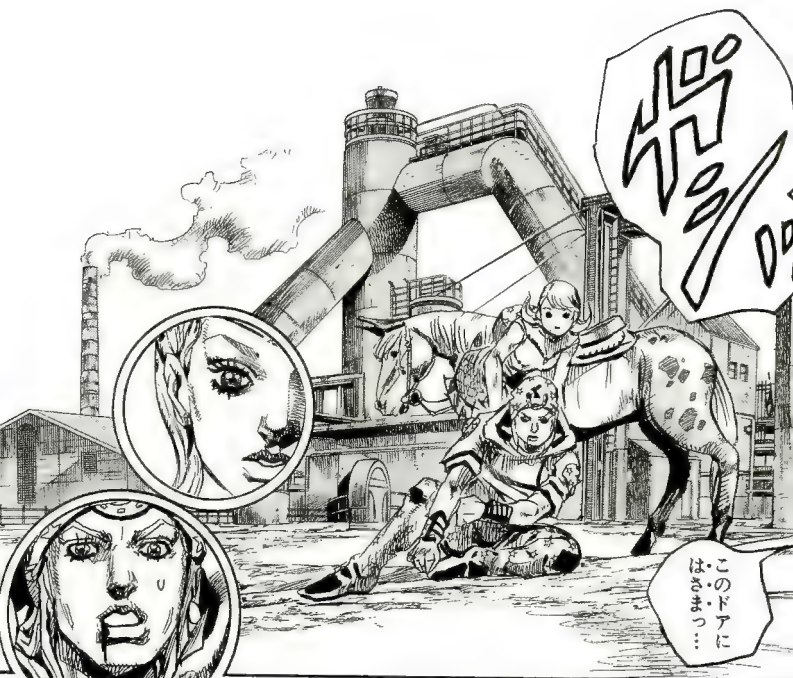
カシャン
カチャン
カシャン

かっ!!
ゾパパ
ドバババ
くあああっ
これは………!!
「穴の中」に戻された…!?
体が回転して……
ドサドサ
!? 穴の中に自分で戻ってしまうぞ
!!
ジャイロの「鉄球」の時は
皮膚が老化した
今度はいつのまにか体が回転している
体内で 細胞のひとつひとつが
……回転して
行動する方向が変わるかのように………
ジョニィのスタンドの攻撃をくらってしまったからか
ヤツのパンチをくらってしまったからか…!!
これは『後遺症』!!
くそっ! 息が出来ないッ!

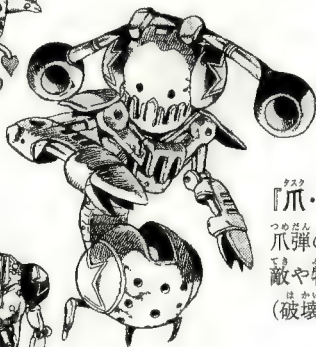
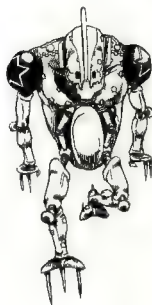
このままでは「生き埋め」になってしまうッ！
この世界にいる事はもう駄目だ
脱出しなくては……
だがなんて事はない
「土」と「土」の間にはさまっている・はさまっているなら好きな世界へ逃れられる
そして新しい「次のわたし」と入れ替われば……
良いッ!!

…………
どうした？
それは何だ？何をしている？
し…
シューシュー
始末しろ
殺せッ！基本世界のジョニィ・ジョースターをッ！
始末しろッ！
「遺体のある世界」のジョニィをだッ！急げッ！
おまえがすぐ戻ってジョニィを殺すのだッ!!

『理解』した……
「遺体のある世界」へ行けばいいんだな
ジョニィを殺す
グルオオオオ
……
……

このドアに・・・はさまっ・・・

ドサドサ
ドサ
ドサ
ドサ
『D4C』
……
まさか
おまえ…
『D4C』!!
ドドドドド

ドガーーーン!!
ジョニィ・ジョースターからのダメージがッ!
まさか…おまえに付いて来ているというのか!!
これはジャイロの不完全な楕円球のとは違うッ!!・・・これはどこまで?いったいどこまで続くのだ!?

『爪・ACT1』
──ジョニィ・ジョースターの
回転する指のエネルギーの爪弾──
『爪・ACT2』
爪弾の弾痕(穴)が
敵や物体を追跡する。
(破壊したら回転は終わる)
『爪・ACT3』
ジョニィ自らを爪弾で撃つと
自分の体を「穴」の中に隠すことができる。
(異次元との境界に隠れているのかもしれない)

#87
ボール・ブレイカー
その⑤

最後に…
……来る
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴ
ハァ
ハァ
ハァ
ゴゴ
ゴゴ

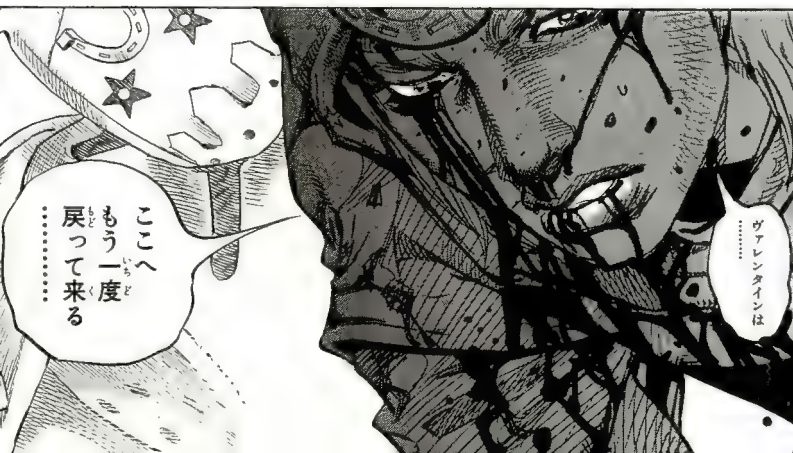
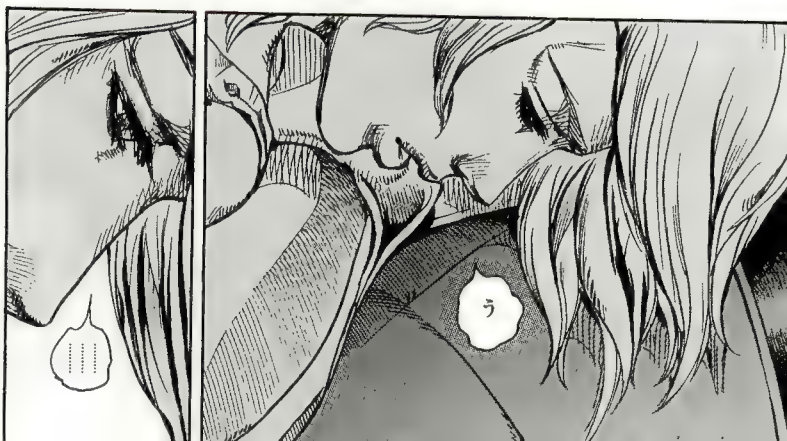
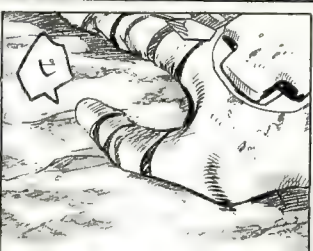
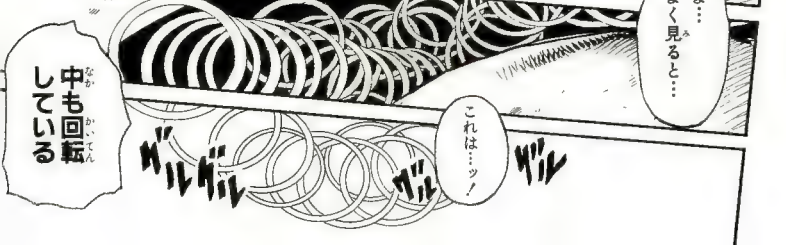
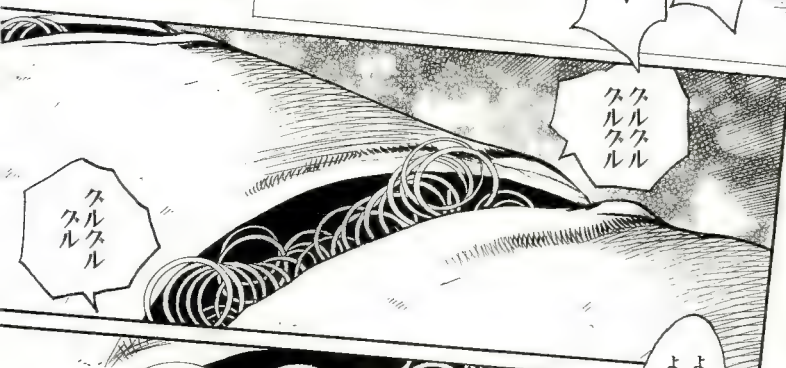
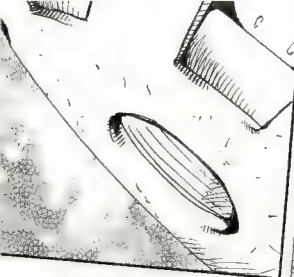
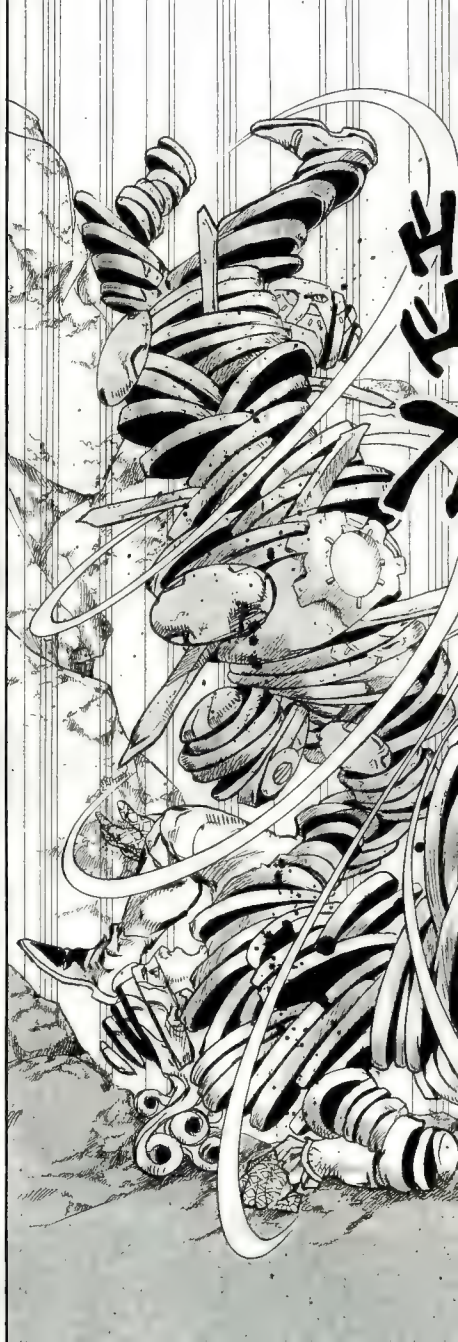
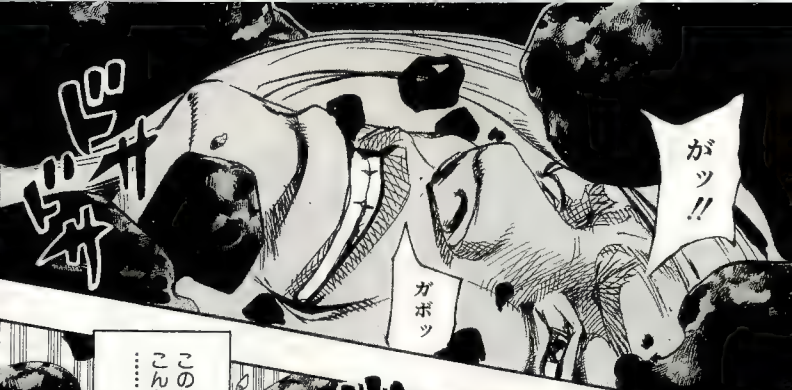
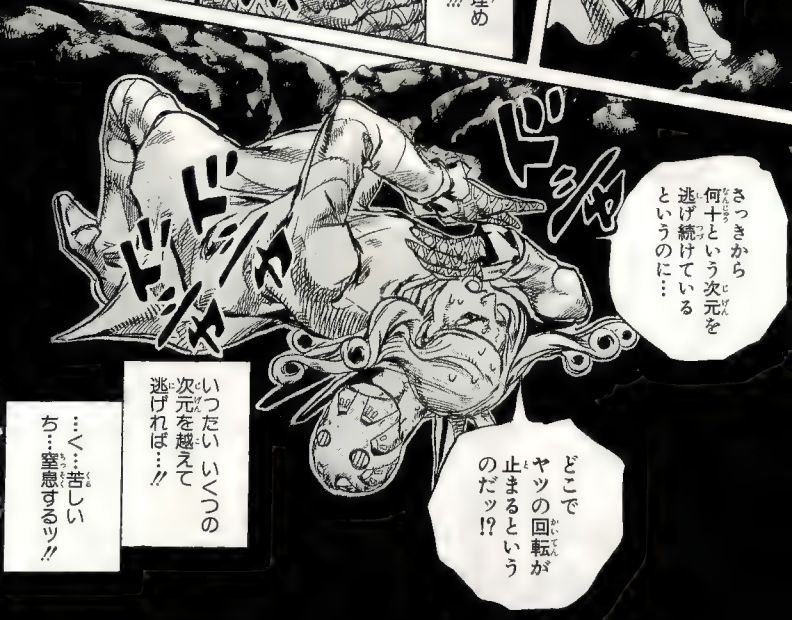
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
きっと……
もう一度
ハァ
ハァ
ゴゴ
ゴゴ
……
ゴ
ゴ
ヴァレンタインは……
ここへ
もう一度
戻って来る……

ザザ
この「遺体のある」世界へ……
ザザ
ザ

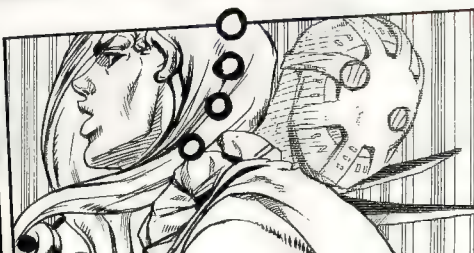
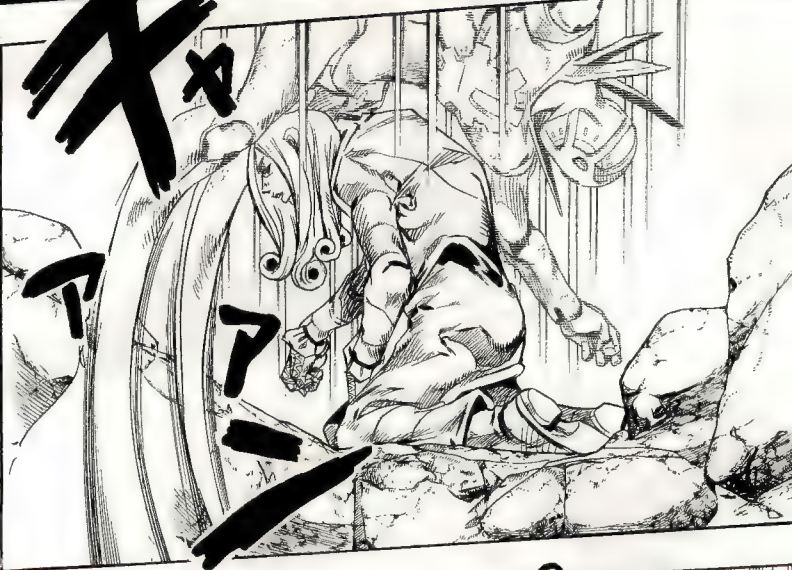
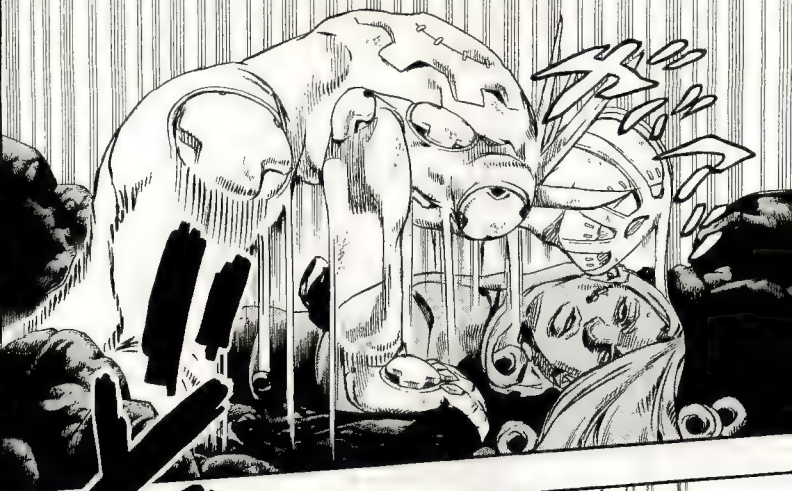
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
な…何度
くり返せば
いいのだ？
ど………
どうしても…
「穴の中」へ
戻されてしまう
ハァ
ハァ
何とかして
……
ここから脱出
しなくては…
この穴の中へ
「埋められる事」
からッ！

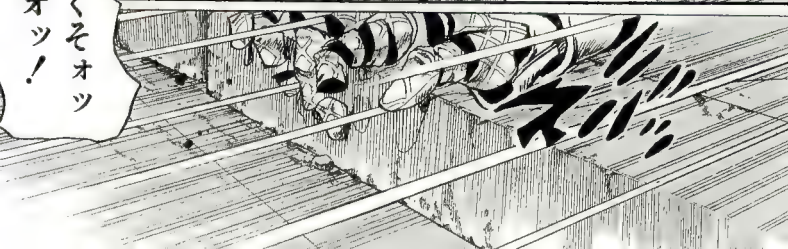
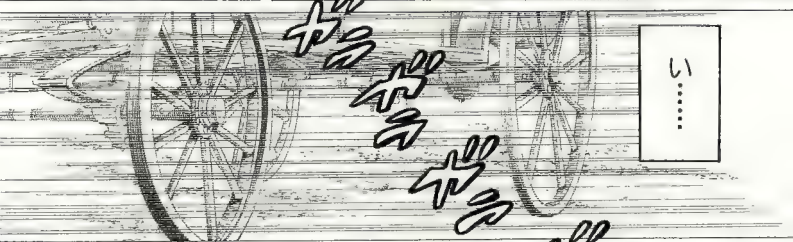
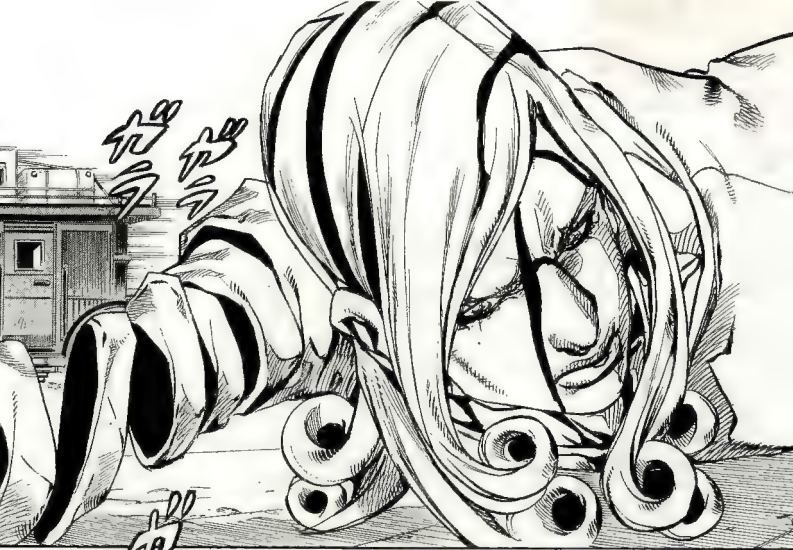
……
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア

ピシッ
クルクルクルクル
クルクル
クルクル
クルクルクル
クルゥゥ――
クルクルクル
ハアハア
ハアー
クルクルクルクル
クルクルクル
よ…よく見ると…
これは…ッ!
中も回転している
グルグル
グル
グルグル

まるで…
毛穴のひとつひとつが…
わたしの体の細胞のひとつひとつが…
グルグルグル
グルグル
グパァ
パタ
パタパタ
パタパタパタ
パタパタ
ザワサァァ

ガッ!!
ガボッ
ドサ
ドサ
このわたしに…こんな災難ガッ……!!
バ・カ・なッ!!
い…
生き埋めだと!!!
ドシャ
ドシャ
ドシャ
さっきから何十という次元を逃げ続けているというのに…
いったい いくつの次元を越えて逃げれば…!!
どこでヤツの回転が止まるというのだッ!?
…く…苦しいち…窒息するッ!!
ドシャ
ドシャ

何とかしなくては…
わたしの「D4C」の体内で回っている…
この「回転」を何とかしなくてはッ!!
ドシャ
ドシャ
ドシャ
ドシャ
殺さなくては……!!
「ジョニィ・ジョースター」……
絶対に…おまえを消滅させてやるッ!!
ドギュウゥ

ギャアアー
う

……
ハァー
ハァー
ハァーッ
ハァーッ
ハァーッ
ハァーッ
殺してやるぞ……ジョニィ・ジョースター……
『遺体のある世界』へ戻って……
ゴゴゴゴゴ
?
基本世界のおまえ本体をッ消せば！この能力も消える！

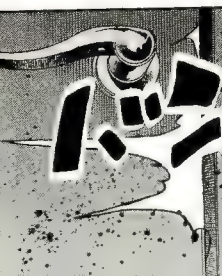
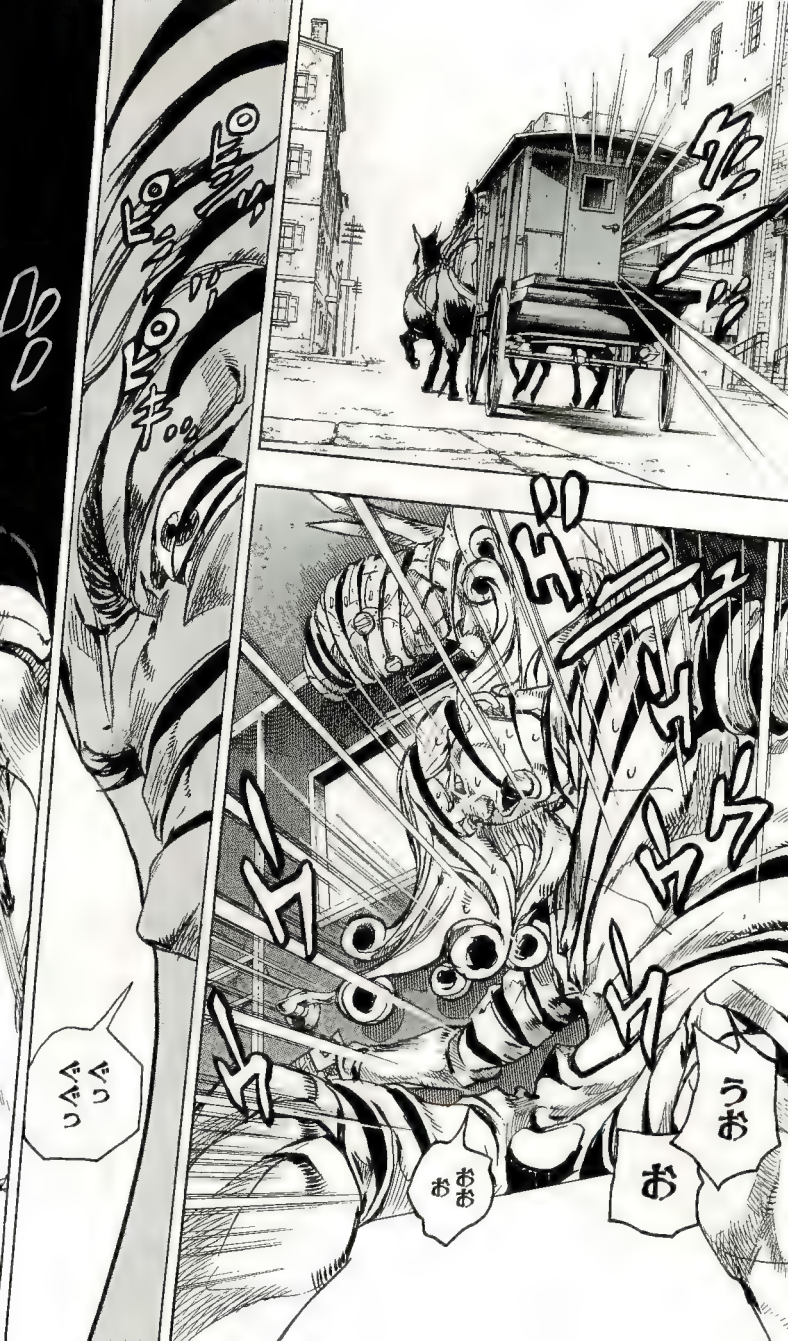
この回転も止まる!!
うああ〜〜〜
うおおおおおあ…
くそオッオッ!

穴に戻されるッ！
ど…
どこかにいるはずだ…この次元は「街」だ…
ちっ…近くにいないのか!?
絶対に殺してやるッジョニィ・ジョースター
必ず戻ってやるッ！

ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
い……
ガラ
ガラ
ガラ
いたぞ…
ガラ
ガラ
この世界だ……「D4C」……いたぞ!
これを待っていた
これが通る「次元」を…
今だ…!!
行けッ!!

ガラガラ
ガラガラ
ドギュウウ
バシィ
バン
ン

ピシッ
ピシッ
ピキ。。
ぐっ
ぐぐっ
うお
お
おおお

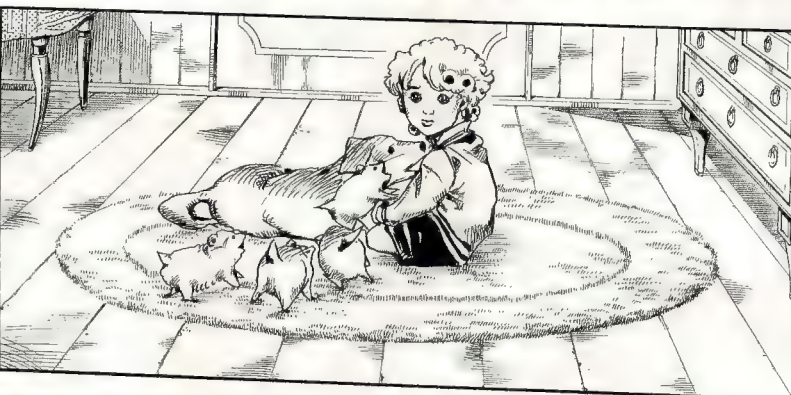
ドゴォ
ガラガラ
ガラガラ

……
ドシュアァ…
やった!!
ガラガラ
ガラガラ
ガラ
やったぞ!!
…距離が遠くなってる…離れて行けるッ!
「穴」からッ!
ガラガラ
ガラガラ
ガラ!!
どんどん離れて行ってるぞ……「体」が
これでもう戻されたりしないィッ!!
回転はもう終っ……

ドパァ

はアアアア〜〜〜〜ッ
何だって…
何だと
バ…バカな…
馬車のドアまで…

バ…
バカな
ドシャ
ドシャ
ドシャ
こ……
この『回転』は……
閉じて触れた…馬車の車体の壁そのものまで…
どんな「エネルギー」なんだ?
そ…そんな
ウソだ……
無限なのか……
ドシャ
まさか
無限なのか…?
うが
がっ
がっ
ドシャ
うおおお
ああああ
ドシャー
ドシャ
ああああ
あああっ

そんな事がッ！
うあああ…
まさか　わたしは
『無限』に「生き埋め」に
・・・・・・・
され続けていく
・・・・・・・
という事なのかッ！
暗闇はもういやだ…
いったい　あと何回
こんな土の中に戻されるんだ？
もう　こんな暗闇は…
このわたしに
・・・・・・・
こんな事がああああッ!!
・・・・・・・
うああああ
あああああ
ドジャドジャ
ドジャア
ドジャ
ファニー
……
ファニー
お母さん　これから
おまえに紹介したい
お客様がいるの……
こちらの
方よ…

ヴァチャリッ
こちらは陸軍騎兵隊大尉ヴァレンタインさん
お話を聞いて
この『ハンカチ』……
わたしは
この『ハンカチ』の話をしたくて…君に会いに来た
20 SEP. 1867

この『ハンカチ』の持ち主はわたしではなく……
その人はわたしの親友でその人から わたしが預かって来たものだ……
彼は…何にでも「日付け」を書く習慣のある男で……
24 DEC.

毎日のように……

『おまえたちの隊は何人いるのか？』

『どこから攻めてくるのか？』

『武器の種類は何か？』

『狙撃兵の隠れている位置を地図で指し示せ』

答えないでいるとくり返しくり返し痛めつけられた

彼は決して答える事はなかったが

心がくじけそうになった……

そしてくじけそうになった時…
彼は持っていたこの『ハンカチ』を何がなんでも「守る」と心に決めた
この『ハンカチ』には1847年の9月20日と刺繍がしてある…
家族との思い出のある「日付け」なのだろう
家族を思う事が国を守る事につながるからだ
この『ハンカチ』だけが彼の「心のささえ」で捕虜になっている苦痛と恐怖に耐えれたのだ

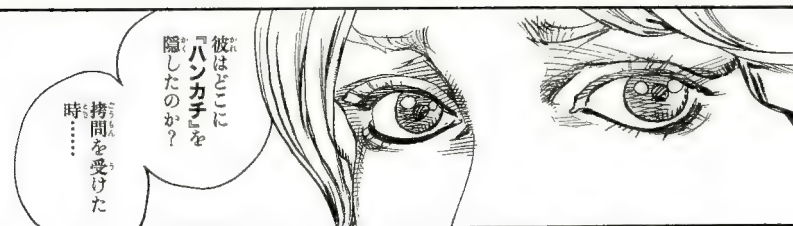
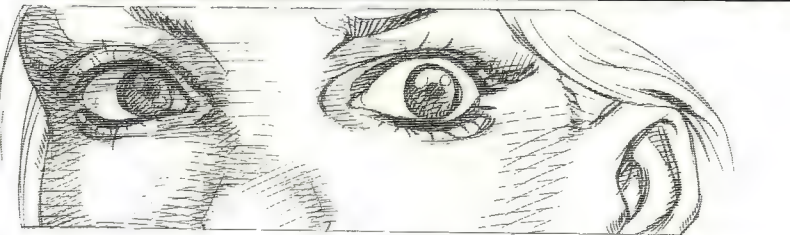
彼は この『ハンカチ』を どこかに隠さなければ ならない…
取り上げられて 「心」までボロ切れの ように 捨てられる わけにはいかない…
牢獄のどこかに 隠すのは とても 無理だ
しかも拷問される時は 素っ裸にされて 体中の穴という穴を 痛めつけられる
「口の中」も 「鼻の穴」の中も 「しりの穴」の中も …………
だが彼は 「隠しとおした」 どこに隠したのか?
最後まで 隠して ひと言も しゃべらなかったからこそ わたしたちの隊は全員 生き残れたし
わたしが この『ハンカチ』を ここにこうして 持って来れている…

そして君は今7歳
これから話す事はとてもつらくて残酷な事実だが……
君が男として大丈夫だと思ったからわたしは話しに来た…
この話は終りまで続けなくてはならない…
彼はどこに『ハンカチ』を隠したのか？
拷問を受けた時……
すでに彼は左目をつぶされていた……
う…うううう
や…やめて……
もうやめて
……
20 SEP. 1847

そのつぶされた
左目を
自分でくり抜いて

この
『ハンカチ』を丸めて
その空洞に
隠し続けたんだ
……………

20 SEP. 1847

そして
この刺繍…
9月20日は
君の「生まれた日」
だね……

君のお父さんだ……………
死後 君のお父さんを埋葬する時わたしが見つけた
あああああ
あああ
ああああああ
「愛国心」はこの世でもっとも美しい「徳」だ
子を守るため命をかけるのは動物も同じだが
国の誇りのため命をかける事が家族を守る事につながると考えるのは「人間の気高さ」だけだ…………
狂信者とはまったく違う心

君のお父さんと親友でいれた事を誇りに思う

さあ………

この『ハンカチ』は君のものだ

うう
ううう……
くっ……
く……
あ…………
う…う

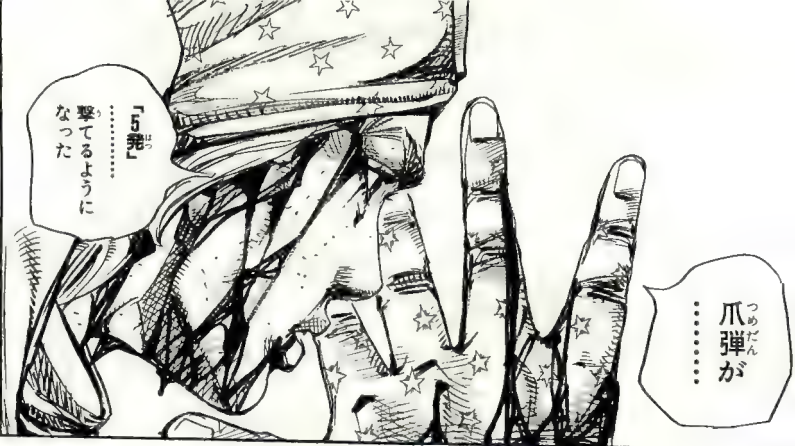
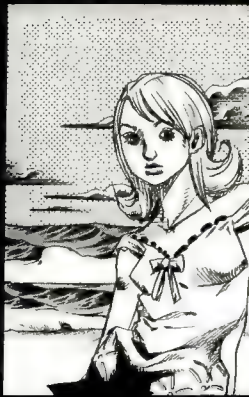
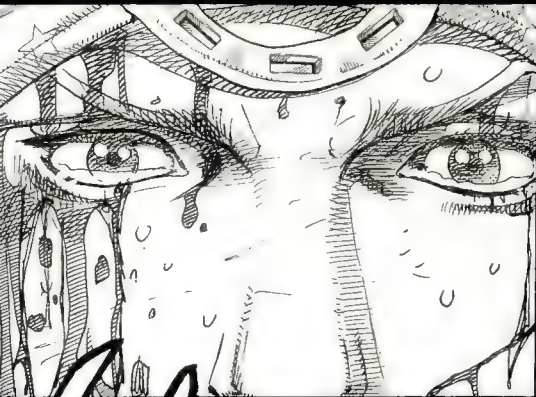
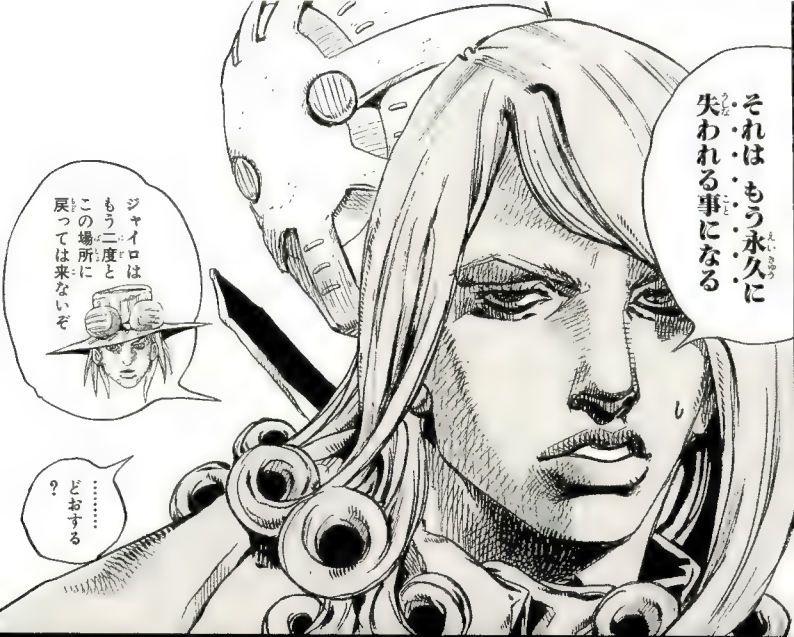
くっ
うっ
『基本世界』の……
ジョニィ……ジョースター
……く
………
………

ギギ
ハァ
ハァー
ハァー
……
ハァ
ハァー
ハァー
ハァー

爪弾が……
「5発」……
撃てるように
なった
ザザザザ
ザザザ
ザザ
ハァ
!?
ハァ
ハァ
ハァ

あなたは……
ジョニィ・ジョースター……
この状況…？
来るな……
まだ終っていない…
こっちへ…

!!
僕に近づくな……
まだ……

ドドドドド
……

やめろ
…もういい…
その「無限の回転」
……
……
……わたしの
『敗北』だ
「完全敗北」！
……もはや勝てない
……「勝者」は……
おまえだ……

だが・・・
生きている「次元の」
「ジャイロ・ツェペリ」もいる
ここからは
「取り引き」
だが……
わ・た・し・な・ら・
こ・の・場・所・へ・
「ジャイロ」を
連れて来れる
可・能・な・の・は・
わ・た・し・だ・け・だ・
もし わたしが
このまま「死ぬ事」に
なるなら……

それは　もう永久に失われる事になる
ジャイロは　もう二度と　この場所に　戻っては来ないぞ
………どおする？
TO BE CONTINUED

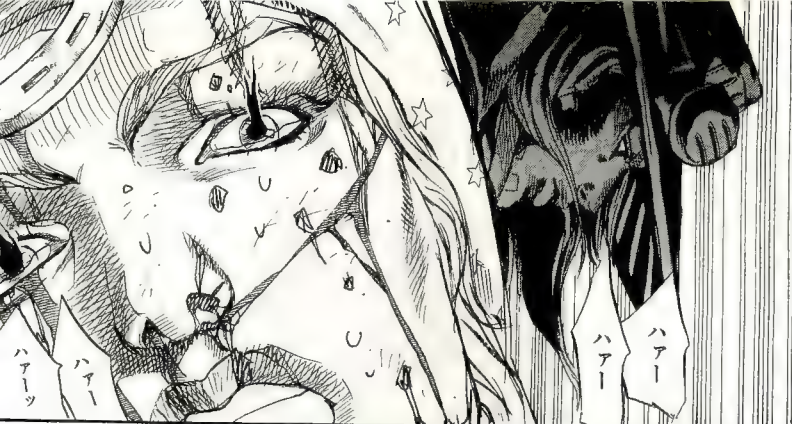
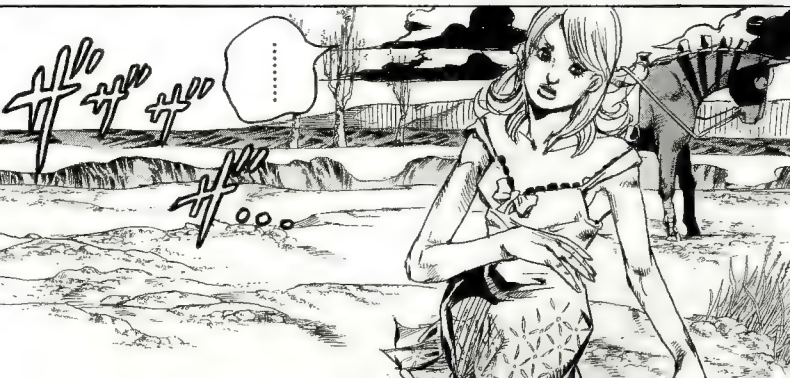
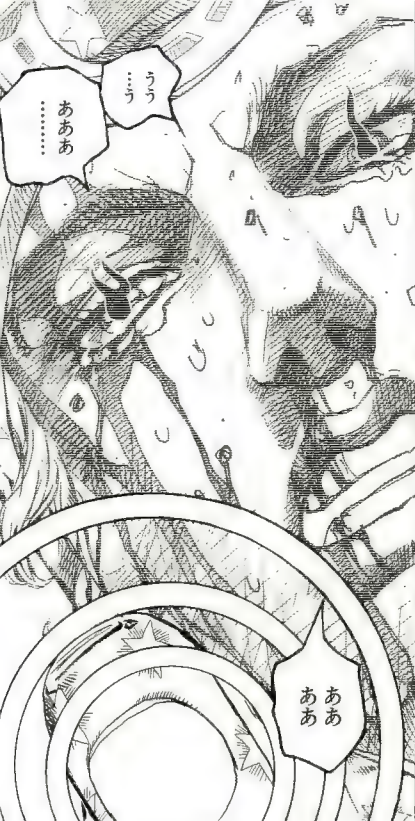
『爪・ACT4』

──ツェペリ一族の祖先が考案した
理論を伝えられる──

『馬の走る力を利用した回転』と
ジョニィの爪の回転を合わせると
無限の回転エネルギーとなる
スタンド能力。
その回転は重力を支配するため、
異次元間をつき抜けて行く。
(そのダメージもおそらく無限で
終りがないはずだ)

#88
ブレイク・マイ・ハート
ブレイク・ユア・ハート
その①

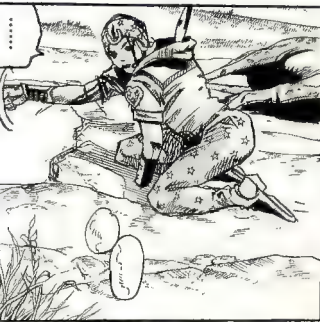
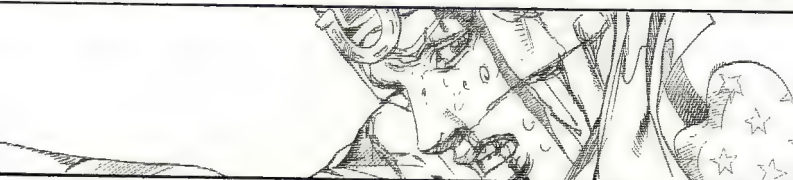
ハァー
ハァー
ハァー
ハァーッ
ハァーッ
ハァーッ
ハァーッ
ハァーッ
ハッ!!

落ちつくんだ……ジョニィ・ジョースター
撃つなよ
まずはわたしの話を聞くんだ
うう……う
あああ………
もはやおまえがわたしを殺す事など簡単だ……とり乱して撃つなよ……
ああああ
………
ザザザザ…

わたしはすでに敗北している
これは「取り引き」なのだ……
……物事の片方の面だけを見るのはやめろ
死んだジャイロ・ツェペリをこの世界へ戻せるのは……
わたしのこの「D4C」の能力だけだ
ハァー
ハァー

う…
うるさいぞ………
今さら何を!!しゃべるなッ!
僕に話しかけるのはやめろ——ッ!!
ここで全てを終らせるッ!
……
ブツ
ズルッ

パ
パ
パ
ズザ
あ
?…
ハア
ハア
ハア
ハア
ああ
……

わたしの目的は
その
「遺体部位」を
全て手に入れる
事…
ただの
それだけだ
手に入れる事の
結果として
そうなったが
君たちの命を奪う事が
目的ではない
この世界の
ジャイロ・
ツェペリは
海に消えた
……このまま
その肉体は
朽ち果てる…
だから
別の世界から
連れてきても
2人のジャイロが
出会って『消滅する』
事はない…
わたしには
それが出来る
……
うう…
あう

ハァ
ハッ
さあ…………
この「無限の回転」を
『止めて』くれ…
STOP

この回転には方向がある…
さっき撃った爪弾と逆方向の回転だ
逆の回転を再び わたしの『D4C』に撃ち込んでくれ
出来るはずだ…………！おまえの「スタンド能力」!!
まったく逆の「無限の回転」を撃ち込んでくれ……
プラスとマイナスで止まるはずだ
STOP
ここへジャイロを連れて来れるぞ……
ハァーハァー
ハァーハァー
ううっ

ハァー
ハァー
ハァー
ハア ハア
ハァー
ジャイロがここに戻って来るというのか？
ハァー
約束する
約束
無事で無傷のジャイロが…………!!
ハア
ハア

約束する

約束

そしてそのまま僕とジャイロを逃がしてくれるというのか？

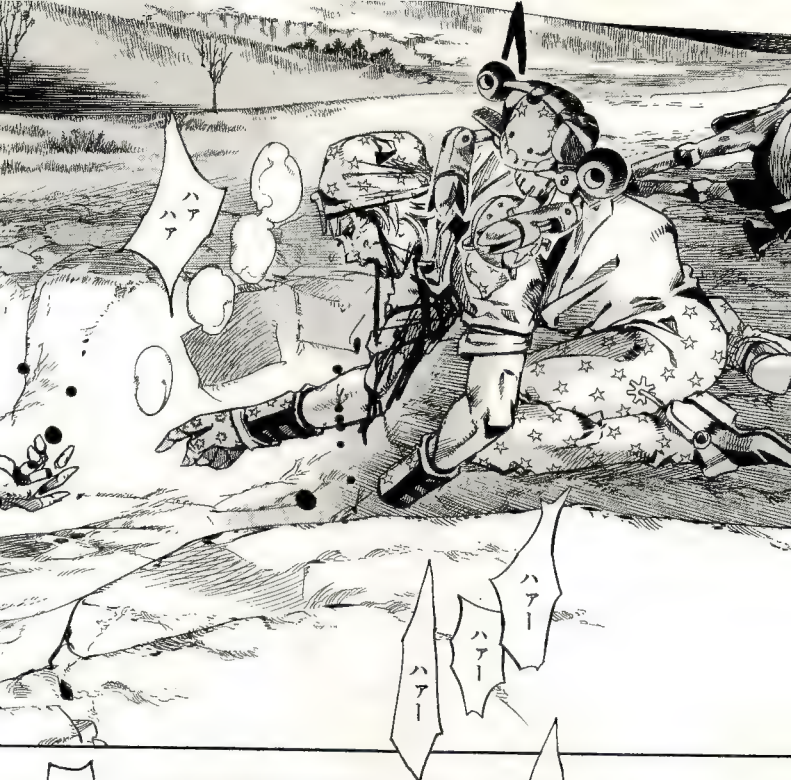
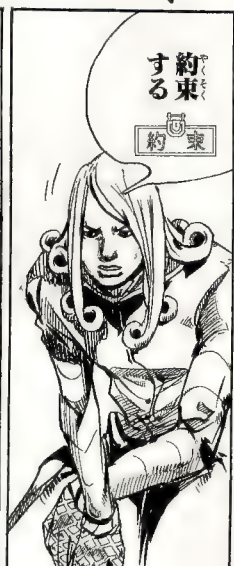
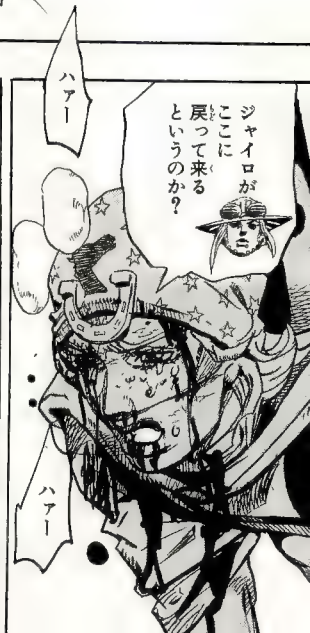
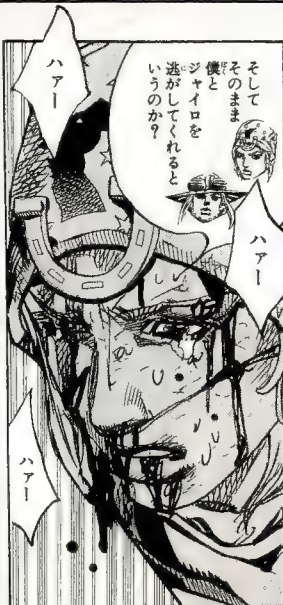
ハアー

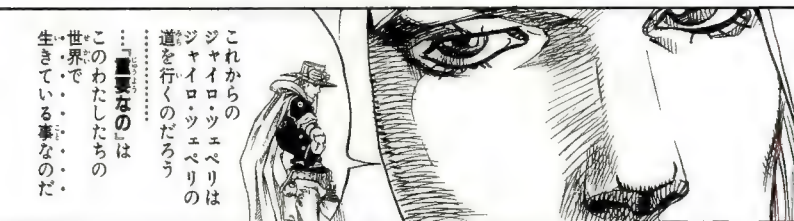
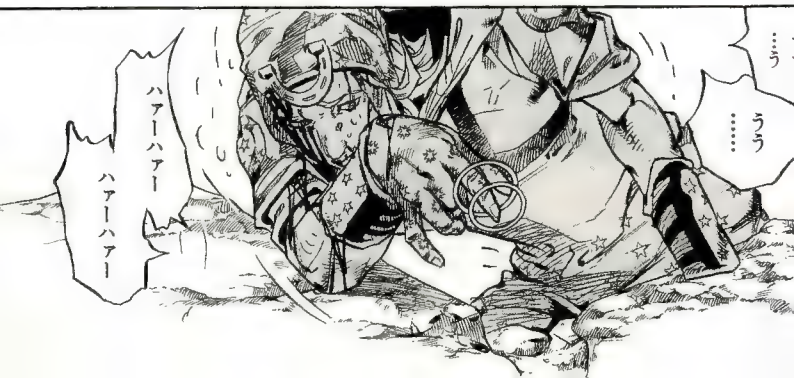
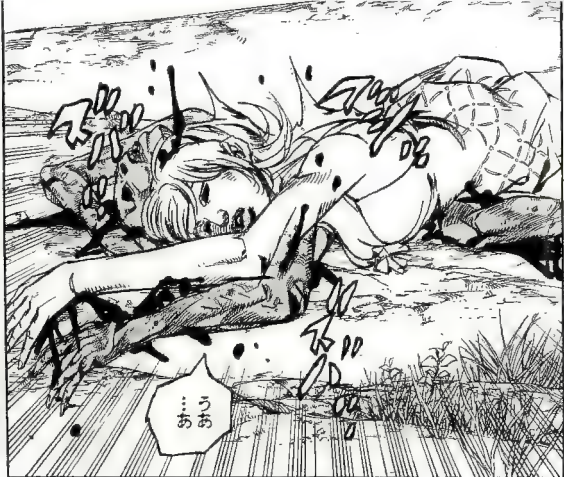
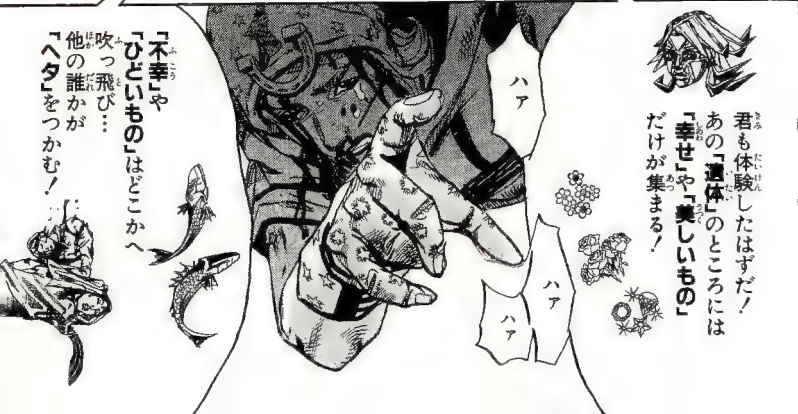
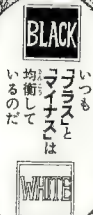
ハアー

ハアー

約束する

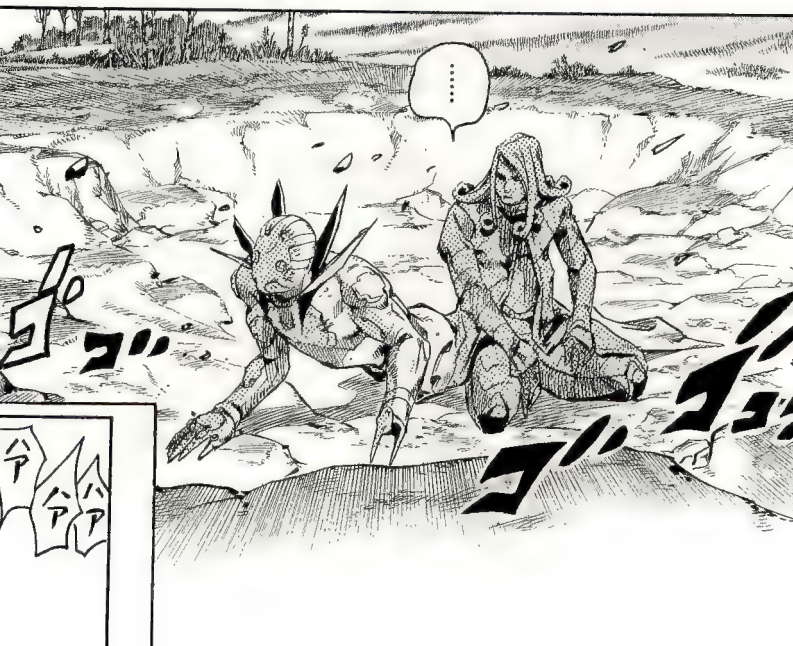
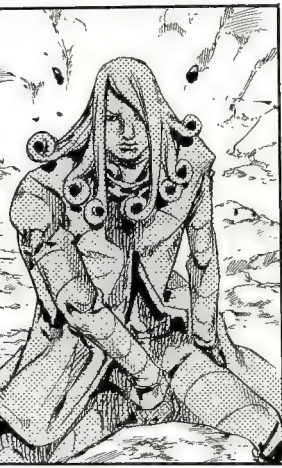
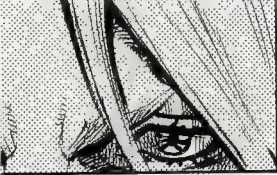
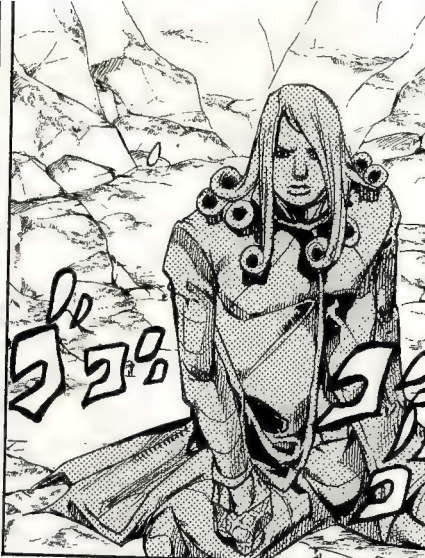
約束

誰にも報復はしない……

全てを無かった事にすると誓う
ハアーッ
今後君らに決して手は出さないし行きたい所へ行けばいい
賞金のためレースを続けたければ続けるといい
わたしは「遺体」だけ手に入ればいい……
ただのそれだけだ
ハアーッ
ハアーッ
ここに戻って来るというジャイロは…
もう同一人物じゃあない…
『違う異次元世界』の……『違うジャイロ』のはずだッ！

ジョニィ・ジョースター…
未来の事なんかわかる者がいるのだろうか？
違う心で違う過去のジャイロが来たとしても…あるいは君と友達でないジャイロ・ツェペリが来たとしても
これからのジャイロ・ツェペリはジャイロ・ツェペリの道を行くのだろう
…『重要なの』はこのわたしたちの世界で生きている事なのだ
…う
うう……
ハアーハアー
ハアーハアー

ここから話す事はとても重要な事だ
それだけを話す
わたしの行動は「私利私欲」でやった事ではない
「力」が欲しいだとか誰かを「支配」するために「遺体」を手に入れたいのではない

うあ…あ
わたしには「愛国心」がある
全てはこの国のために「絶対」と判断したから行動した事…
君も体験したはずだ！あの「遺体」のところには「幸せ」や「美しいもの」だけが集まる！
ハァ
ハァ
ハァ
「不幸」や「ひどいもの」はどこかへ吹っ飛び…他の誰かが「ヘタ」をつかむ！

SAIGON
それが人間世界の現実であってあらゆる人間が「幸せ」になる事などありえない
「美しさ」の陰には「ひどさ」がある
BLACK
いつも「プラス」と「マイナス」は均衡しているのだ
WHITE
その聖なる「遺体」がッ！
自分の欲望でしか考えないゲスどもの事だ
仮に地球の裏側のどこかのルール無用の『ゲス野郎ども』の手に渡ってみろ！
この国の将来にどれだけ残酷な出来事が集まってきて起こる事になるのだろう……
HAPPY
STOP
それだけは阻止しなくてはならないッ！

わたしの大統領としての絶対的『使命』は！
この世界のこの我が国民の『安全を保障する』という事！ それひとつに尽きるからだ！
保障OK
このSBRレースはそのために行われ
SBR
「スタンド使い」たちに「聖なる遺体」を集めさせる唯一無二の手段だった
人間の世界では歴史でわかるように劇的変化のある時必ず戦闘が行われる

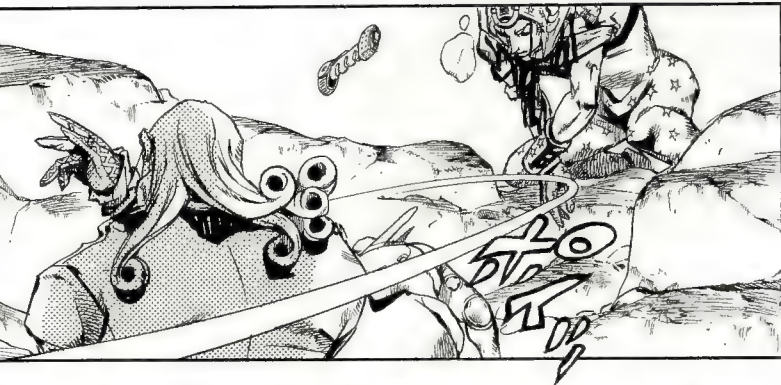
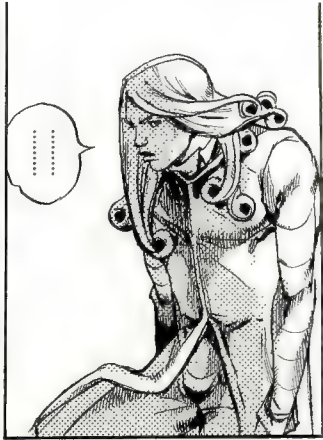
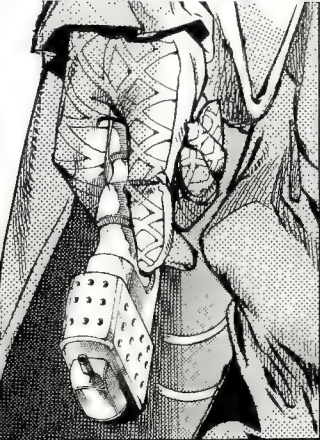
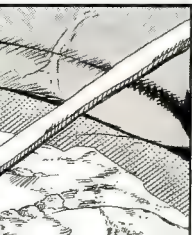
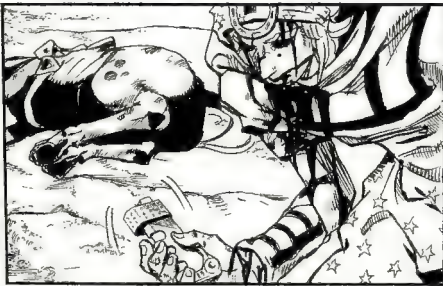
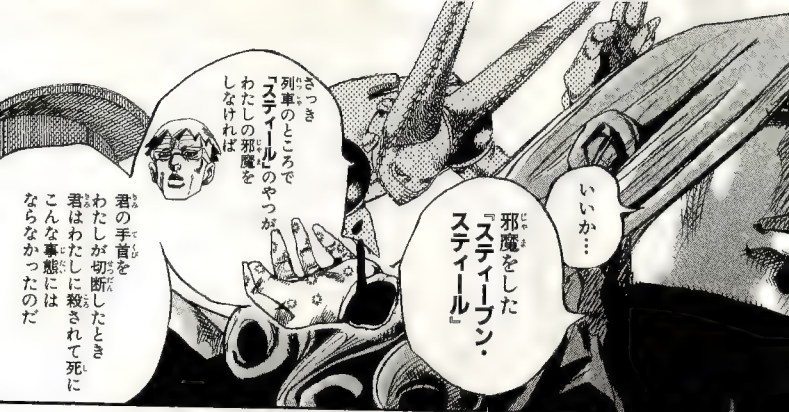
逆に言うなら戦いの犠牲が出るからこそ『大切なもの』が手に入る
WAR
このレースで死んでいったものはそれでありひつぜん必然な結果だった
わたしの行動にミスはなかったと信じている
戦争ではなく「SBRレース」であったからこそ犠牲者は最少で済んだのだ
お願いだ『ジョニィ・ジョースター』
早まるな
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

「遺体」を正しく理解しているのはこのわたし・だ・け・だ……どこかの国にその「遺体」を渡してはならない……
わたしは死ぬ事は恐れない……だが時間が欲しい！今は死ねないのだ……
わたしのこの体の中の「無限の回転」を止めてくれ…
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
あんたは「正しい人」なのか？……
・・・・信じたい…
もしかして「いい人」な・の・か・も？と…信じたい
ハア
僕の行動の方が「悪」なのかもしれないと…
ハアッ

でも「保証」がない……
保障OK
ハアッ
ハアッ
あんたは大統領だ その「回転」を止めて「遺体」を手中にしたとたん
『だまし討ち』をしてくるかもしれない
ジャイロを戻す前に……
または再び「殺し屋」や「軍隊」を送り込んでくるかもしれない
ハア
ハア
僕らの「安全の保証」なんかどこにもないっ…
わたしは「誓う」と言った
わたしは一度口にして誓った事は必ず実行して来た
……「報復」は決してしない
……
ゴ
ゴゴ
ゴ
ゴゴ
ハア
ハア
ハア

だから それを・・・・
僕に『信じさせて』みろ!!
ゴゴゴ
あんたが「いい人」だという事を…
力と才能のある「うそつき」ではなく……「正しい道」を行く人間であるという事を…
今!ここで僕を説得してみろッ!!
ゴゴゴゴゴ
「誓い」を守る正しい人間である事を僕に説得できたら喜んで「回転」は止めてやるッ!!

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ジャイロに会いたい…
「無事なジャイロ」をもう一度ここに戻したい…
……みんなをここに戻したい
あんたが「いい人」だという事を信じられたらどんなに素晴らしいだろう
僕にあんたを……信じさせてくれ

……
ボイ
ボトォ
それは「HP」のスプレーだ
彼女も犠牲者になったが異次元世界の「HP」から
さっき取り上げて来たものだ

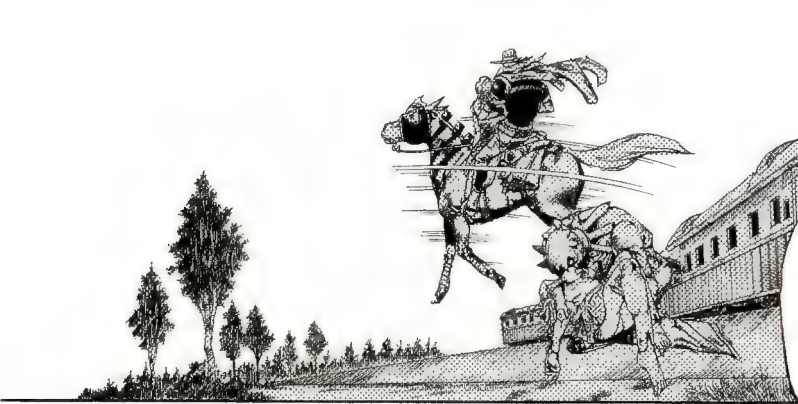
「遺体」が
ルーシーの
体から完全に
分離する時…
おそらく
ルーシーは
あのまま死ぬ
だが「HP」の
「スプレー」があれば
傷は治せる
わたしは
この世界の
「ルーシー」を
幸運の女神と
感じている
大切に思っている
その「スプレー」は
「ルーシー」の
命のために
万が一のために
奪っておいたものだ

それで治せ
わたしが切断した
君の「左手首」も…
まだ息のある
君の「愛馬の首」も
それを使って治療できる

いいか…
邪魔をした『スティーブン・スティール』
さっき列車のところで「スティール」のやつがわたしの邪魔をしなければ
君の手首をわたしが切断したとき君はわたしに殺されて死にこんな事態にはならなかったのだ
その「スティール」のやつを始末しなかったのは
わたしがルーシーに『安全を保証』したからだ
……幸運の女神に誓ったのだ「スティール」には決して手出しはしないと…!!
わたしは一度口にして誓った事は必ず実行する
君たちに『報復しない』と誓ったなら『決してしない』
これは………

わたしの父の「かたみ」だ

何にでも日付けを書く習慣のあった父親でこのハンカチには――わたしの「誕生日」が刺繍されている

20SEP. 1847

わたしの心のささえだ……大切な時はいつも持ち歩いている……

父が戦争へ行く時持って行ったそうだが父が戦死したあとわたしの所へ戻って来たものだ

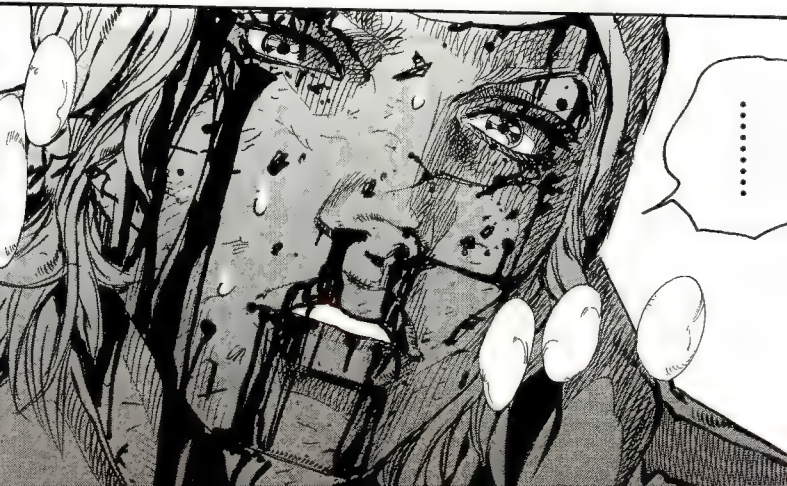
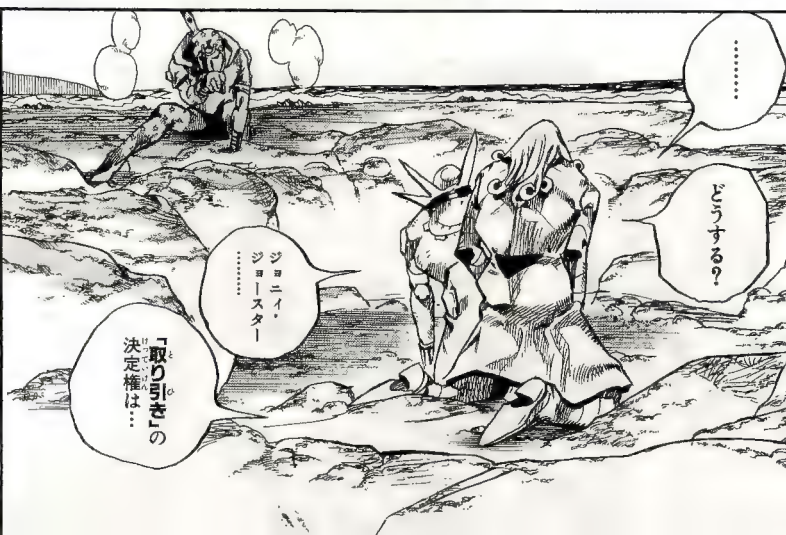
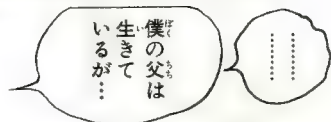
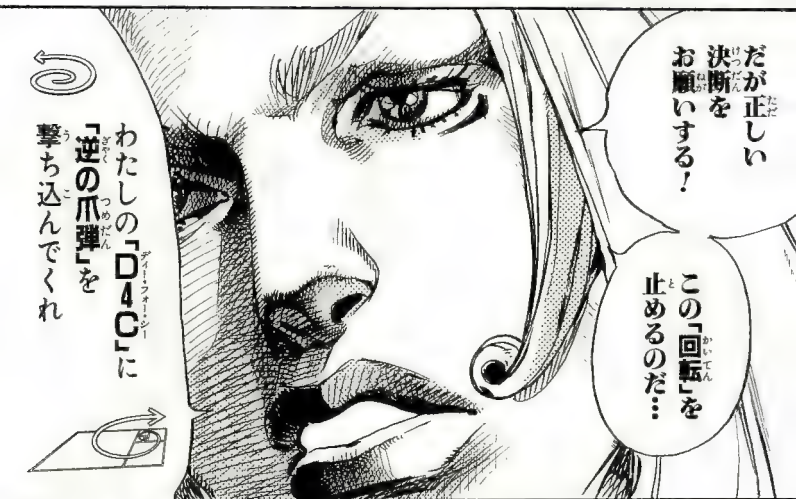
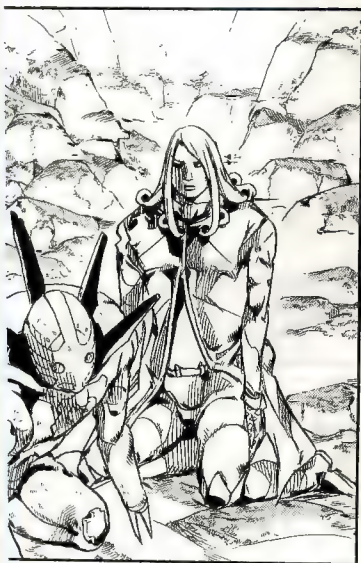
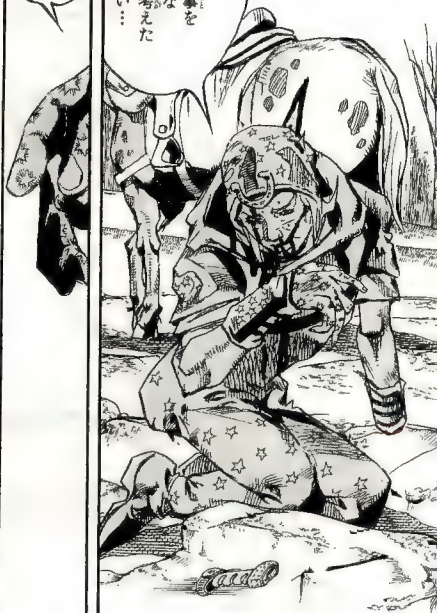
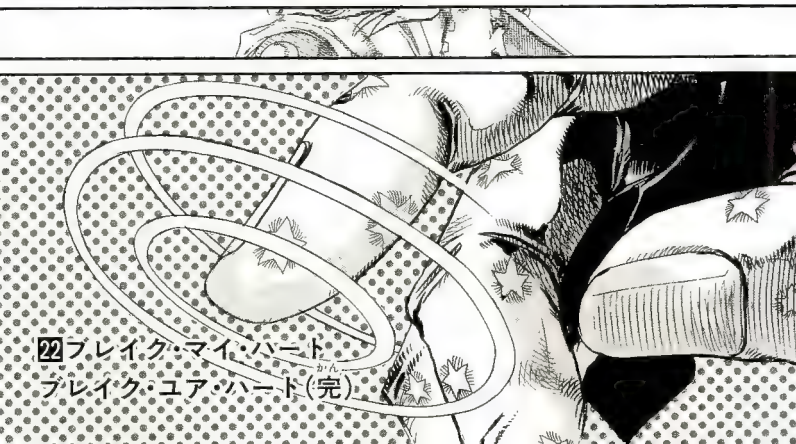
このかけがえのない大切さは誰にも理解できないものかもしれないが

この亡き父の「ハンカチ」にかけて誓う

ジョニィ・ジョースター
『決して報復はしない』
全てを終りにすると誓おう
…………

わたしにも親はいる…
「日付け」を書く人だったそうだが父はりっぱな人だった
死んでからますますそう思うようになったよ
このハンカチからわたしは「父の愛」と「愛国心」を学んだんだわたしの原点だよ…
無数にある異次元にもすでに父は死んでいなかった
2 SEP. 847
何度も行って探したがね…
会えるものならわたしももう一度父に会いたい…………
…………

ハァ
ハァ
ハァ
ブルブルブル
……
どうする？
ジョニィ・ジョースター……
「取り引き」の決定権は…

ハァ
ハァ
ハァ
あくまでも君にある
だが正しい決断をお願いする！
この「回転」を止めるのだ…
わたしの「D4C」に「逆の爪弾」を撃ち込んでくれ
………
僕の父は生きているが…

ああ……神様……
あなたは連れて行く息子を……
……間違えた
父親の事って……
あんたのようにそんな風に思うものなのか……
僕は一度だって…
……自分の父親の事をあんたのような思い出の中に考えた経験なんてない…
ただの一瞬も……
たとえ異次元に行けたとしても…

僕は自分の父を探しになんて決して行ったりしないだろう
あんたの方が……
「正しい道」なのかもしれない……
少なくともここにいる僕よりは……
人として「正しい道」を歩いている
ズル…
ジョニィ・ジョースター……
22ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート(完)

■ジャンプ・コミックス

STEEL BALL RUN

22 ブレイク・マイ・ハート ブレイク・ユア・ハート

2010年11月9日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　鳥嶋和彦

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(3230)6236(編集部)
03(3230)6191(販売部)
03(3230)6076(読者係)

Printed in Japan

印刷所　中央精版印刷株式会社

ISBN978-4-08-870160-8 C9979

荒木飛呂彦のコミックス
ありとあらゆる手品やトリックを、自在にこなす不思議な転校生ビーティー。友人の公一と魔少年ビーティーが体験する様々な怪事件に、数々の奇抜なトリックが登場する！荒木飛呂彦渾身の連載デビュー作！
魔少年ビーティー
●集英社文庫<コミック版> 全1巻
HIROHIKO ARAKI PRESENTS HIROHIKO ARAKI
荒木世界を読みつくせ!!
秘密機関ドレスが創り出した最強の生物兵器・バオー。橋沢育朗に寄生し、ドレスから脱走したバオーに、暗殺者たちが次々と襲いかかる！その時、育朗の中に眠る無敵の生命・バオーが覚醒する!!
大好評発売中!!
バオー来訪者
●集英社文庫<コミック版> 全1巻

ゴージャス☆アイリン 荒木飛呂彦短編集
●ジャンプスーパーコミックス 新書判 全1巻
代々、殺人教育を受け継ぐ家の血をひき、メイクによって人格が変わる美しき殺し屋アイリンのハイパー・アクション。表題作他「魔少年ビーティー」「バージニアによろしく」そしてデビュー作「武装ポーカー」を収録。
●愛蔵版 A5判 全1巻
15年ぶりに描かれた「ゴージャス☆アイリン」のピンナップを収録。さらに、幻の初期短編「アウトロー・マン」をデジタル復刻掲載！「死刑執行中脱獄進行中」と対をなす箱入り豪華装丁で登場！
HIROHIKO ARAKI PRESENTS
死刑執行中脱獄進行中
●愛蔵版 A5判 全1巻
ある囚人が投獄されたのは死刑執行の為の部屋だった…！ 衝撃の表題作をはじめ、JOJO第4部の敵・吉良吉影のその後を描いた「デッドマンズQ」「ドルチ」「岸辺露伴は動かない」を収録。
HIROHIKO ARAKI PRESENTS
変人偏屈列伝
荒木飛呂彦＋鬼窪浩久
●愛蔵版 A5判 全1巻
異能の大リーガー、天才発明家、稀代の興行師、悲運の賄い婦、究極のひきこもり兄弟、生涯館を増築し続けた未亡人…。社会的制圧にも屈せず、己の信念を貫き通した愛すべき変人偏屈たち！ハードカバー、箱入り超豪華装丁！